

公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表

図式の見方

大分類	分類コード	地図情報レベル		図式	データタイプ			種	用	備考								
		レイヤ	項目		名称	取得方法	図形区分				データ	レコード	方向	属性数値	線号			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳

番号	項目	説明	備考																		
①	大分類																				
②	分類																				
③	レイヤ																				
④	コード																				
⑤	名称																				
⑥	500																				
⑦	1000																				
⑧	2500																				
⑨	5000																				
⑩	図式	<p>図面出力時の図(絵)を表示。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各図形に対する取得方法を示す。 総データで先印(→)があるものは、入力方向が有ることを示す(⑮の方向の欄に"有"があるもの)。 記号は傾き0°で表示。 点データで傾きのあるもの(⑮の方向の欄に"有"があるもの)は、Y軸が傾向を示す。 <p>例)</p> <p>へい(6340)の場合</p> <p>この場合、入力方向に対して右側にへい(6340)の記号が出力時に発生することを表す。</p>																			
⑪	データタイプ																				
⑫	図形区分	<p>数値地形データフォーマットの図形区分に準ずる。</p> <table border="1"> <tr> <td>コード</td> <td>内容</td> </tr> <tr> <td>00</td> <td>非区分</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>射影部の上端</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>射影部の下端</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>高欄</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>橋脚</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>親柱</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>ガードレール</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>ガードパイプ</td> </tr> </table> <p>下記に該当しない空データ 石段等の両端部、崩土、壁岩、滝、人工斜面、被覆の射影をもつもの 道路橋、鉄道橋 防護さく</p>	コード	内容	00	非区分	11	射影部の上端	12	射影部の下端	21	高欄	22	橋脚	23	親柱	26	ガードレール	27	ガードパイプ	
コード	内容																				
00	非区分																				
11	射影部の上端																				
12	射影部の下端																				
21	高欄																				
22	橋脚																				
23	親柱																				
26	ガードレール																				
27	ガードパイプ																				

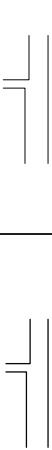
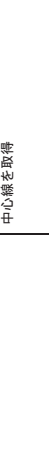
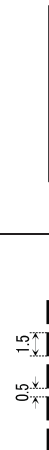
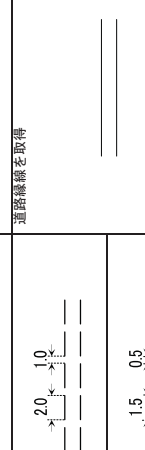
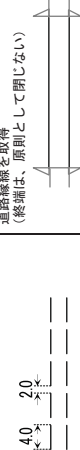
図式の見方

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				備考											
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ		レコード	属性数値									
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳				
									31 中線 32 棟割線 33 階付外 34 付外 35 ポーチ・ひさし 36 へ 46 輸送管(空中) 47 輸送管(空中) 48 輸送管(空中) 49 輸送管(空中) 50 輸送管(空中) 51 養路面 52 養路面 53 養路面 54 養路面 55 養路面 56 養路面 57 養路面 58 養路面 59 養路面 60 養路面 61 養路面 62 養路面 63 養路面 64 養路面 65 養路面 66 養路面 67 養路面 68 養路面 69 養路面 70 養路面 71 養路面 72 養路面 73 養路面 74 養路面 75 養路面 76 養路面 77 養路面 78 養路面 79 養路面 80 養路面 81 養路面 82 養路面 83 養路面 84 養路面 85 養路面 86 養路面 87 養路面 88 養路面 89 養路面 90 養路面 91 養路面 92 養路面 93 養路面 94 養路面 95 養路面 96 養路面 97 養路面 98 養路面 99 養路面 100 養路面													
⑬		データ							データのタイプを示す(⑩)で示すレコードタイプ[E1~E8、G、T]を日本語で説明したもの。 数値地形図データフォーマットのレコードタイプ(E1~E8、G、T)を示す。													
⑭		レコード							レコードタイプ E1 面線 E2 線 E3 円 E4 円弧 E5 点 E6 方向 E7 注記 E8 属性 G クラウド T 不整三角網													
⑮		データタイプ							道路橋やへい、被覆など、入力方向があるものや、DMデータフォーマットのレコードタイプが「E6」の傾きを持つ記号(点)に、「有」がついている。													
⑯		属性数値							高さや階数などの属性を持つものは、「有」がついている。													
⑰		線号							入力する線の線号(木ざ)を示す。線号:1号は、0.05mm。													
⑱		適用							作業規程の準則「公共測量標準図式」に準ずる。													
⑲		端点一致							連絡線同士の間が一致することを示す。													
⑳		備考							補足等が記入されている。													

境界等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					備考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード		方向
境界等	11	01 都府県界	一般	道路	河川		境界の位置と一致する。	線	E2			<p>地方自治法に定める行政区画等の境をいう。異なる境界記号が重複する部分の優先順位は分類コードの小さい順とし、関係市町村で確定されていない境界は表示しない。</p> <p>1.異なる境界記号が重複する部分の優先順位は、図式分類コードの小さい順とする。 2.境界記号は、原則として境界の真位置と記号の中心線とが一致するように表示する。 3.関係市区町村で確定されていない境界は表示しない。 4.大字・町（丁目）界は、東京都の区、市町村及び指定都市の区内で区域が明確なものを表示する。 5.境界記号上には、注記、建物記号、小物体記号及び場地記号は原則として表示しない。ただし、表現上やむを得ない場合は境界記号を間断して表示することができ。</p>	
			一般										
		02 北海道の支庁界	一般	道路	河川		境界の位置と一致する。	線	E2			都道府県界（図式分類コード11-01）の通用を参照。	
		03 都市・東京都の区界	一般	道路	河川		境界の位置と一致する。	線	E2			都道府県界（図式分類コード11-01）の通用を参照。	
		04 町村・指定都市の区界	一般	道路	河川		境界の位置と一致する。	線	E2			都道府県界（図式分類コード11-01）の通用を参照。	
		06 大字・町・丁目界	一般	道路	河川		境界の位置と一致する。	線	E2			大字界、町界及び丁目界については、区域が明確なものについて表示する。	
		07 小字界	一般	(一般) 道路 (河川)			境界の位置と一致する。	線	E2			都道府県界（図式分類コード11-01）の通用を参照。	
		10 所属界	一般	一般	道路	河川		境界の位置と一致する。	線	E2			<p>島等で所属を示す必要がある場合で、それぞれの所属が読図できる程度に表示する。</p> <p>所属界は、所属を示す必要がある場合に、それぞれの所属が読図できる程度に表示する。</p>

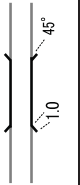
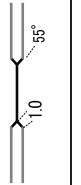
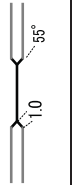
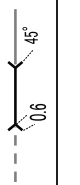
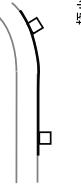
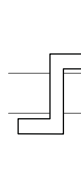

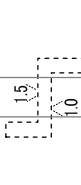

交通施設

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
		01	道路線(街区線)	一般道路 河川	一般	一般		道路線を取得	線	E2		<p>幅員(道路線から道路線までの間をいう。)を縮尺化して表示する道路で、地図情報レベル500ではすべての道路、1000では0.5m以上の道路を表示する。</p> <p>幅員が地図情報レベル 2500では1.0m以上、5000では2.0m以上の道路をいう。</p> <p>市街地において、特に表示する必要のある幅員が 図上0.4mm未満の道路は、0.4mmとして表示する。</p>	<p>道路線とは、道路法第2条第1項に規定される道路線に於いては道路構造令に定める歩道幅員、自転車道幅員、中央線幅員、歩道幅員、樹木帯幅員、車道幅員、道路の幅員を備え、かつ、当該幅員が覆われた道路線の構成要素を除去した道路線(単線)をいう。当該幅員は、道路法の各第1項に規定する以外の道路にあってはこれに準ずる線をいう。</p> <p>橋や養殖、あるいは橋小路や敷地入り口等で閉断される箇所以外は一連として作成し、橋や養殖等は座標一致で道路線、橋小路や敷地入り口等は閉断区分を設定して座標一致で連続させる。</p>	
		02	軽車道	一般	一般		中心線を取得	線	E2		<p>軽車道とは、幅員1.0m以上、2.0m未満の道路をいい、長さか図上1.0cm未満のものは省略することができる。</p>			
		03	徒歩道	一般	一般		中心線を取得	線	E2		<p>幅員が0.5m未満の道路をいう。土堤上のもは表示しない。</p> <p>幅員が1.0m未満の道路をいう。</p> <p>徒歩道とは、幅員1.0m未満の道路をいう。のいずれかが満たすものを表示する。ただし土堤上のものは表示しない。</p> <p>(1) 道路線及び軽車道に接続するもの。 (2) 泰山、観光等に利用されるもの。 (3) 神社等主要な地点へ到達するもの。 (4) 耕地の区画等の景観を表現するために必要なもの。</p>			
		06	庭園路等	一般	一般		道路線線を取得	線	E2		<p>公園内の道路、工場敷地内の道路、墓地内の道路、陸上競技場の競争路、飛行場の滑走路等のような特定の地区内における道路で、幅員が地図情報レベル500で0.5m以上、1000では1.0m以上のものを表示する。</p> <p>庭園路とは、公園、住宅地等で自動車の通行を規制している道路及び工場等特定の敷地内の道路をいい、幅員が地図情報レベル2500では1.0m以上、5000では2.0m以上のものを表示する。</p>	<p>橋や高架、あるいは橋小路や敷地入り口等で閉断される箇所以外は要素として作成し、橋や高架等は座標一致で連続し、橋小路や敷地入り口等は閉断区分を設定して座標一致で連続させる。</p>		
		07	トンネル内の道路	一般	一般		道路線線を取得 (終端は、原則として閉じない)	線	E2		<p>道路の地下部をいい、その経路(道路線)を表示する。</p>			

交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通	用	備考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ					レコード
道路	21	09 建設中の道路	一般 道路 河川			<p>真幅 2.5 x 1.5 x = (建設中)</p>	道路線路を取得 (終端は、原則として閉じない)					3	現在建設中の道路をいい、道路敷の外縁を表示し、路線のおおむね中央又は端部部分に(建設中)の説明注記を添えて表示する。測図完了時までに開通見込みのものは完了時の道路で表示する。		
			一般 道路 河川		一般	<p>真幅 1.5 x 1.5 x = (建設中)</p>	線	E2				○	<ol style="list-style-type: none"> 建設中の道路とは、現地調査時に建設中であって、完成までに1年以上を要する道路線を示す。 建設中の道路は、その道路敷の外縁を表示し、工事区間の中央部または末端に(建設中)の説明注記(図式分類コード81-81)を添えて表示する。 建設中の道路が、道路線及び鉄道と交差する場合は建設中の道路を間断して表示する。 建設中の道路に接続する建設中の橋は、建設中の道路記号で表示する。ただし、完成しているもの及び1年以内に完成見込みのものは、道路橋の記号で表示する。 		
交通施設	22	03 道路橋(高架部)	一般 道路 河川			<p>1.0 x 1.0 x 種小</p>	線路を取得					6			
			一般 道路 河川		一般	<p>1.0 x 1.0 x 種小</p>	高欄 外周を取得(終端盛土橋一致)	21 面	E1				○	鉄・コンクリート製の橋をいう。 高欄・橋脚部分は真形を表示する。	
道路施設	22	03 道路橋(高架部)	一般 道路 河川			<p>1.0 x 1.0 x 種小</p>	橋脚	22 線	E2			3			
			一般 道路 河川		一般	<p>1.0 x 1.0 x 種小</p>	観注	23 面	E1				○		
						<p>0.6 x 0.6 x 45°</p>	線路を取得 ひ開脚は自動発生して表示					6	<ol style="list-style-type: none"> 道路橋(高架橋を含む)は、地図情報レベル2500においては、橋床部の長さが2.5m以上で幅員が1.0m以上、5000においては、橋床部の長さが5.0m以上で幅員が2.0m以上のものを正射影で表示する。橋の幅員が第1項に定める大きさま未満のものは、徒橋の記号で表示する。 橋の長さが第1項に定める大きさま未満のものは、橋の記号を省略し道路として表示する。 		

交通施設

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通	用	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ					レコード
交通施設	22	04	木橋	一般 道路 河川	1.0	45°		線	E2	有	3	○	木製の橋をいい、ひ開部は自動発生して表示する。			
																
	05	徒歩橋	一般 道路 河川	1.0	55°		線	E2			6	○	徒歩橋をいい、ひ開部は自動発生して表示する。			
																
	06	棧道橋	一般 道路 河川	1.0	1.0		線	E2				6	○	斜面を通過する道路で、橋桁の一侧が斜面に接し、反対側が橋脚になっている部分をいう。橋脚部分は真形を表示する。		
11	横断歩道橋	一般 道路 河川	一般	1.5		面	E1				3		人、自転車等が道路又は鉄道を横断するために構築された歩道橋をいう。			
																
12	地下横断歩道	一般 道路 河川	一般	1.5		面	E1				3		道路または鉄道の横断歩道橋は正射影を表示する。			
																

交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
交通施設	13	歩道	一般	道路	河川		車道との界線を取得	線	E2	3	○	道路縁で歩道を有する部分は、歩道の幅員が図上0.6mm以上のものを表示し、その端采は現況により閉塞する。	
						一般							
交通施設	14	石段	一般	道路	河川	<p>極小 階段線間隔 1.0 mm</p>	線縁を取得 (階段部は取得しない 階段部は閉塞しない)	線	E2	3		図上の長さがおおむね2.0mm以上のものを表示し、幅員が図上0.5mm以下のものは省略することができる。蹴上げ等で塵根のない階段状の観覧席等は、これに準じて表示する。	
						一般							

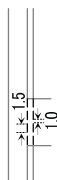



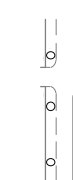
交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ						線号	通 用	備 考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
交通施設	15	地下街・地下鉄等出入口	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	1. 地下街・地下鉄等出入口は周囲の正射影を表示し、階段部は、出入口方向から3段表示する。 2. 建物の内部にある地下街・地下鉄等出入口は表示しない。	
								階段線 (入口から3段取得)	線	E2					
								外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1					
								階段線 (入口から3段取得)	線	E2					
								外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1					
								階段線 (入口から3段取得)	線	E2					
	19	道路のトンネル	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	真形 坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	道路の地下部への出入口をいう。建設中のトンネルは出入口が明確な場合にのみ表示する。	1. 道路のトンネルは出入口を坑口 (図式分類コード42-19) の規定を準用して表示し、地下の部を示す線は表示しない。 2. 建設中のトンネルは、出入口が明確な場合にのみ表示する。
								真形 坑口部分の外周を取得	線	E2					
								真形 坑口部分の外周を取得	方向	E6	有				
								真形 坑口部分の外周を取得	面	E1					
								真形 坑口部分の外周を取得	線	E2					
								真形 坑口部分の外周を取得	方向	E6	有				
22							外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1			6			
							階段線 (入口から3段取得)	線	E2						
							外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1						
							階段線 (入口から3段取得)	線	E2						
							外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1						
							階段線 (入口から3段取得)	線	E2						

交通施設

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通 用	備 考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
	21	バス停		一般 道路 河川				位置の点情報を取得 	点	E5		3	道路上あるいは歩道上に設けられたバスの停留所をいう。	
	22	安全地帯		一般 道路 河川			外周を取得 (始終点盛揃一致) 	面	E1		3	道路上あるいは駅前広場等に設けられた安全地帯 (安全島) をいう。		
	26	分離帯		一般 道路 河川	一般		外周を取得 (始終点盛揃一致) 	面	E1		3	分離帯とは、道路の分離帯、ロータリーの中央島等をいい、正射影を表示する。		
	27	駒止		一般 道路 河川	一般		中心線を取得 	線	E2		2	分離帯の幅員が図上0.4mm未満のものは、中心線を一条線で表示する。		
	28	道路の雪覆い等		一般 道路 河川	一般		道路側の線部を取得 	線	E2		6	道路上に設けられたコンクリート製のブロックをいう。		
	31	側溝 U字溝無蓋		道路			外周を取得 (始終点盛揃一致) 	面	E1		3	雪崩又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいう。		
	32	側溝 U字溝有蓋		道路			外周を取得 (始終点盛揃一致) 	線	E2		3	道路の雪覆い等とは、雪崩又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいい、長さが図上2.0mm以上のものについて正射影を表示する。		
	33	側溝 L字溝		道路			縁線を取得 	線	E2		3	道路縁に設けられた無蓋のU字溝等をいう。		
				道路			縁線を取得 	線	E2		3	道路縁に設けられた有蓋のU字溝等をいう。		
				道路			縁線を取得 	線	E2		3	道路縁に設けられたL字溝等をいう。		

交通施設

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
交通施設	22	34	側溝地下部	道路				地下線路 線路を取得	線	E2		3	道路線に設けられたU字溝等の地下部をいう。	
		35	雨水樹	道路				外周を取得 (始終点基準一致)	面	E1		3	道路線に設けられた御溝に付随して設置された雨水等の集水樹をいう。	
		36	並木樹	道路				外周を取得 (始終点基準一致)	面	E1		3	植樹保護のコンクリート製の枠または樹をいう。	
		38	並木	一般道路 河川		一般		並木の位置の点情報を取得	点	E5		3	道路等に沿って整然と植樹された樹木等をいう。	
		39	植樹	一般道路 河川		一般		並木の位置の点情報を取得	点	E5		3	街路樹、芝地等の植栽をいう。	



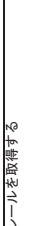
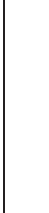






交通施設

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通	用	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード					方向
	41	道路情報板		道路				脚の位置の点情報と標識の向きを取得	方向	E6	有		3		道路法に規定する道路情報板をいう。種類を示す注記を併記する。		
	42	道路標識 案内	(道路)	(道路)				脚の位置の点情報と標識の向きを取得	方向	E6	有		3				
	43	道路標識 警戒	(道路)	(道路)				脚の位置の点情報と標識の向きを取得	方向	E6	有		3		道路管理者が設置する道路標識をいい、案内、警戒及び規制に区分する。「製品仕様書」による。		
	44	道路標識 規制	(道路)	(道路)				脚の位置の点情報と標識の向きを取得	方向	E6	有		3				
	46	信号灯	道路	道路				ポール上の位置と番号標の向きを取得	方向	E6	有		3		専用ポールのある信号灯をいう。		
	47	信号灯 専用ポールのないもの	道路	道路				番号標の位置と向きを取得	方向	E6	有		3		電柱、構架歩道等に設置されている、専用ポールを持たない信号灯をいう。		
	51	交通量観測所	道路	道路				位置の点情報を取得	点	E5			3		交通量を常時観測している施設をいう。		
	52	スノーポール	(道路)	(道路)				位置の点情報を取得	点	E5			3		積雪時に道路線を確認できるように設置されているポールをいう。「製品仕様書」による。		
	53	カーブミラー	(道路)	(道路)				位置の点情報を取得	点	E5			3		交差点又は屈曲路等に設置されている確認鏡のうち公的なものをいう。「製品仕様書」による。		

交通施設

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通	用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				
交通施設	55	距離標 (km)	道路	2.0	1/km		位置の点情報を取得	点	E5			3	起点からのkm単位の追距離を示す標識をいう。距離数を適切な位置に併記する。		
							挿入位置	属性	E8						
	56	距離標 (m)	道路	2.0	0.1/km		位置の点情報を取得	点	E5			3	起点からの0.1km単位の追距離を示す標識をいう。距離数を適切な位置に併記する。		
							挿入位置	属性	E8						
	61	電話ボックス	一般道路 河川	2.5	0.3		外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	独立した電話ボックスをいう。		
							位置の点情報を取得	点	E5						
62	郵便ポスト	一般道路 河川	2.5	0.3		位置の点情報を取得	点	E5			3	独立した郵便ポストをいう。			
						挿入位置	点	E5							
63	火災報知器	一般道路 河川	2.0	0.3		位置の点情報を取得	点	E5			3	独立した火災報知器をいう。			
						挿入位置	点	E5							

交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通	備考	
			500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ				レコード
交通施設	23	普通鉄道	一般 道路 河川		一般		レールを取得する				8	○	鉄道事業法又は軌道法に基づいて運行されている鉄道で、特別軌道及び養道を除いたものを表示する。工場等における引き込み線、駅構内又は操車場における側線は、本線と同じ記号で表示する。	
							中心線を取得				10			
	02	地下鉄地上部	一般 道路 河川		一般		レールを取得する					8		地方公共団体及び東京地下鉄(株)等が管理する地下高速鉄道の路線のうち、軌道が地上部に出ているものをいう。
							レールを取得する					8		
	03	路面鉄道	一般 道路 河川		一般		レールを取得する					8		路面鉄道とは、道路上に線路を敷設した鉄道で、主として路面上から直接乗り降りできる車両が運行される鉄道をいう。
							中心線を取得					6		
	04	モノレール	一般 道路 河川		一般		中心線を取得					8		車両が一本の軌道桁に跨座し、又は懸垂して走行するものをいう。
							レールを取得する					8		
	05	特殊鉄道	一般 道路 河川		一般		レールを取得する					6		特殊軌道は、次の各号に適用する。 (1) モノレール・鋼索鉄道 (2) 普通鉄道と接続しない工場等特定の地区内の軌道。 (3) 採鉱(石)地と工場等を結ぶ専用軌道。
							中心線を取得					6		

交通施設

大分類	分類コード	分類コード レイヤ 項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通 用	備 考			
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード	方向	属性数値
交通施設	23	06	索道	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	中心線を取得				空中ケーブル、スキークリフト、ペルトコンベヤー及びこれらに類するものをいい、大規模なものは説明注記を添えて表示する。				
															1	索道とは空中ケーブル、スキークリフト、ペルトコンベヤー及びこれらに類するものをいい、長さが図上2.0m以上で恒久的なものを表示する。大規模なものには「(スキークリフト)」、「(ペルトコンベヤー)」等の説明注記(図式分類コード81-81)を添えて表示する。	
															2	索道で高塔のあるものは、高塔(図式分類コード42-35)を表示する。	
		09	建設中の鉄道	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	外面を取得		線	E2		現在建設中の軌道等をいい、測図完了時までに開通見込みのものは、完了時の軌道で表示する。軌道敷の外縁を軌道とし、路線のおおむね中央部又は工事部分の末端に(建設中)の注記を添えて表示する。廃業路線も同様に注記する。			
																1	建設中の軌道は、軌道等の施設が現に建設中でその経路が明らかなものについて、軌道敷の外縁を表示し、工事区間の中央部又は端部に(建設中)の説明注記(図式分類コード81-81)を添えて表示する。
																2	普通鉄道の地下部分をいう。
		11	トンネル内の鉄道 普通鉄道	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	レールを取得する	線	E2		レールを取得する	普通鉄道の地下部分をいう。			
																1	普通鉄道の地下部分をいう。
																2	地下鉄の地下部分をいう。
		12	地下鉄地下部	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	レールを取得する	線	E2		レールを取得する	地下鉄の地下部分をいう。			
																1	地下鉄の地下部分をいう。
																2	踏面鉄道の地下部分をいう。
		13	トンネル内の鉄道 踏面鉄道	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	レールを取得する	線	E2		レールを取得する	踏面鉄道の地下部分をいう。			
1	踏面鉄道の地下部分をいう。																
2	踏面鉄道の地下部分をいう。																

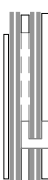
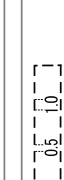

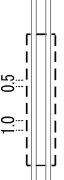
交通施設

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通	用	備考	
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ					レコード
鉄道	23	14	トンネル内の鉄道	モノレール	一般 道路 河川				中心線を取得		線	E2			モノレールの地下部分をいう。		
			15	トンネル内の鉄道	特殊鉄道	一般 道路 河川				レールを取得する		線	E2			特殊鉄道の地下部分をいう。	
交通施設	24	01	鉄道橋 (高架部)	一般 道路 河川	一般			橋 線路を取得			有					鉄道橋及び鉄道の高架部は、その正射影を表示する。図上の長さ15.0mm以上のものには記号としての半円を付す。	
								橋脚 線路を取得	22	線	E2			鉄道橋及び鉄道の高架部は、その正射影を表示する。ただし、鉄道の記号との間隔が狭い場合は、記号の外側に0.2mmの白部をおいて鉄道橋を表示する。			
								外面を取得 (始終点座標一致)									
交通施設	11		跨線橋	一般 道路 河川	一般			外面を取得 (始終点座標一致)		面	E1				駅構内の鉄道を構断するために構築された橋をいい、跨線橋の正射影を表示する。		
								地下通路 線路を取得 (始終点座標一致)		面	E1			乗降客が鉄道を構断するために構築された地下道をいう。			
		12	地下通路	一般 道路 河川				地下通路 線路を取得 (始終点座標一致)		面	E1			乗降客が鉄道を構断するために構築された地下道をいう。			

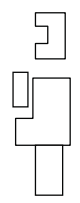
交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通 用	備 考
			500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ			
交通施設	24	19 鉄道のトンネル	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	面	E1			普通鉄道及び特殊軌道のトンネルの出入口をいう。建設中のトンネルは出入口が明確な場合に表示する。	
								線	E2				
								方向	E6	有		3	
								面	E1				
交通施設	21	21 停留所	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	面	E1			1. 停留所とは、路面鉄道の駅をいう。 2. 停留所は、安全島(安全地帯が島状の施設であるもの)がある場合は、その外縁を正射影で表示し、安全島がない(安全地帯が道路標識及び道路表示により明示されたもの)場合及び狭小で正射影で表示できない場合は、おおむねその位置に極小の記号を表示する。	
								点	E5				
								面	E1			3	
								点	E5			2	


交通施設

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通 用	備 考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
交通施設	24	プラットホーム	一般 道路 河川				外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		3	駅構内で乗降用に足場を高くした構造物をいう。	
		プラットホーム上屋	一般 道路 河川			外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1	3	プラットホーム上に建造された雨よけ等の屋根をいう。			
		モノレール橋脚	一般 道路 河川			外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1	3	モノレールの橋脚をいう。			
		鉄道の雪覆い等	28		一般 道路 河川			外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1	3	雪崩又は落石等を防ぐために軌道上に設置されたものをいう。	

建物等

大分類	分類コード	分類 項目 目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通用	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード
建築物等	30	01	普通建物	一般 道路 河川				外形 外周を取得 (始終点座標一致)					3	<p>3階未満の建物及び3階以上の木造等をいう。</p>	<p>ポーチ・ひさし・外付階段は破線 (実線1.0mm、白部0.5mm) とする。</p>
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31	面	E1				
								棟間線	32	線	E2				
								階層線	33	線	E1				
								外付階段 (線部)	34	面	E1				
								外付階段 (階段線) 階段線間隔 1.0 mm	99	線	E2				
								ポーチ・ひさし	35	面	E1				
								外形 外周を取得 (始終点座標一致)							
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31	面	E1				
								棟間線	32	線	E2				
								階層線	33	線	E2				
										一般					

建物等

大分類	分類コード	分類 レイヤ 項目 目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通用	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
建築物等	30	02	堅ろう建物	一般 運路 河川				外形 外周を取得 (始終点座標一致)							ポーチ・ひさし・外付階段は破線 (実線1.0mm、白部0.5mm) とする。 鉄筋コンクリート等で建築された建物で、地上3階以上又は3階相当以上の高さのものをいう。階層表示は「製品仕様書」による。 6	
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31	面	E1					
								棟割線	32	線	E2					
								階層線	33	面	E1					
								外付階段 (線部)	34	線	E2					
								外付階段 (階段線) 階段間隔 1.0 mm	99	面	E1					
								ポーチ・ひさし	35	線	E2					
								外形 外周を取得 (始終点座標一致)								
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31	面	E1					
								棟割線	32	線	E2					
								階層線	33	面	E1					

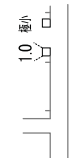
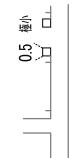
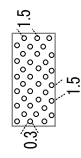
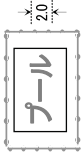
建物等

大分類	分類コード	分類 項目 目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
建物等	30	03	普通無壁舎	一般 道路 河川				外形 外周を取得 (始終点座標一致)								<p>ポーチ・ひさし・外付階段は破線 (実線1.0mm、白部0.5mm) とする。</p>
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31	面	E1					
								棟割線	32	線	E2					
								階層線	33	線	E2					
								外付階段 (縁部)	34	面	E1					
								外付階段 (階段線)	99	線	E2					
								ポーチ・ひさし	35	面	E1					
								外形 外周を取得 (始終点座標一致)								
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31	面	E1					
								棟割線	32	線	E2					
								階層線	33	線	E2					

建物等

大分類	分類コード	分類 レイヤ 項目 目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
建築物等	30	04	堅ろう無壁舎	一般 運路 河川				外形 外周を取得 (始終点座標一致)		面			6	鉄筋コンクリート等で建築された制壁のない建物及び建物類似の建築物で、地上3階以上又は3階相当以上の高さのものをいう。	ポーチ・ひさし・外付階段は破線 (実線1.0mm、白部0.5mm)とする。
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31	E1					
								棟割線	32	E2					
								階層線	33	E1					
								外付階段 (線部)	34	E2					
								外付階段 (階段線) 階段間隔 1.0 mm	99	E1					
								ポーチ・ひさし	35	E2					
								外形 外周を取得 (始終点座標一致)		面					
								中庭線 外周を取得 (始終点座標一致)	31	E1					
								棟割線	32	E2					
								階層線	33	E1					
											一般				

建物等

大分類	分類コード	分類項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
建物に付属する構造物等	34	01	門	一般 道路 河川			門柱の外周を取得（始終点座標一致）	面	E1			3	石、コンクリート、れんが等でできた堅ろうな門柱を有するもので、特に構造の大きなものをいう。扉木門を含む。		
							柵小	方向	E6	有					門は、石、コンクリート、れんが等でできた堅ろうな門柱を有するもので、図上0.5mm以上の大きさのものを正射影で表示する。
		02	屋門	一般 道路 河川	一般		建物の中の道線線を取得	線	E2			3	建物の一部が道路に供されているものをいう。 屋門は、神社・仏閣等における規模の大きなものについて、普通建物（図式分類コード30-01）の記号の内部に、道路に相当する部分の真幅を破線で表示する。		
							外周を取得（始終点座標一致）	面	E1						ガソリンスタンド等、広範囲をコンクリート等で覆われたものをいう。
03	たたき	一般 道路 河川	一般		外周を取得（始終点座標一致）	面	E1			3	人工の遊泳施設をいう。ただし、屋内のものは除く。				
04	プール	一般 道路 河川	一般		内部りん形点は自動発生して表示する	面	E1			3	人工の遊泳施設をいう。ただし、屋内のものは除く。				

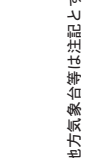
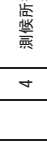
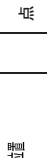

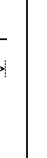
建物等

大分類	分類コード	名	地図情報レベル	図式	データタイプ				線号	適用	備考						
					取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値				
建物記号	35	官公署	500 1000 2500 5000		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	<p>外国公館及び大規模な官公署については、注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は、官公署の記号で特記する。</p>							
			一般道路 河川										記号の表示位置の点情報を取得	点			<p>裁判所（同支所を含む）は注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は、官公署の記号で表示する。</p>
			一般										記号の表示位置の点情報を取得	点			
建物記号	04	裁判所	500 1000 2500 5000		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	<p>裁判所（同支所を含む）は注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は、官公署の記号で表示する。</p>							
			一般道路 河川										記号の表示位置の点情報を取得	点			<p>検察庁（同支所を含む）は注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は、官公署の記号で表示する。</p>
			一般										記号の表示位置の点情報を取得	点			
建物記号	05	検察庁	500 1000 2500 5000		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	<p>検察庁（同支所を含む）は注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は、官公署の記号で表示する。</p>							
			一般道路 河川										記号の表示位置の点情報を取得	点			<p>検察庁（同支所を含む）は注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は、官公署の記号で表示する。</p>
			一般										記号の表示位置の点情報を取得	点			

建物等

大分類	分類コード	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
建物等	35	07	税務署	一般道路河川				記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5		4	税務署(国粉局を含む)は注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。	
				一般道路河川	一般										
				一般道路河川											
				一般道路河川											
建物等	35	08	税関	一般道路河川				記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5		4	税関をいう。	
				一般道路河川	一般										
				一般道路河川											
				一般道路河川											
建物等	35	09	郵便局	一般道路河川				記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5		4	郵便局は、普通郵便局及び特定郵便局については注記で表示するのを原則とする。ただし、建物の一部にあるもの及び簡易郵便局は記号で表示する。	
				一般道路河川	一般										
				一般道路河川											
				一般道路河川											
建物等	35	10	森林管理署	一般道路河川				記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5		4	森林管理署(森林管理局、森林事務所を含む)は注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。	
				一般道路河川	一般										
				一般道路河川											
				一般道路河川											

建物等

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通用	備考
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
				11 測候所	一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得		点	E5		4	測候所をいう。地方気象台等は注記とする。	
				12 地方整備局事務所	一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得		点	E5		4	国の機関（公団を含む）における地方整備局事務所等をいう。	
				13 出張所	一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得		点	E5		4	国の機関（公団を含む）における工事事務所等の出張所をいう。	
				14 警察署	一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得		点	E5		4	警察署をいう。	
				15 交番	一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得		点	E5		4	交番とは、警察法による交番その他の派出所及び駐在所をいう。記号を原則とする。	

建物等

大分類	分類コード	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
建物等	35	16	消防署	一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得							<p>1. 消防署及びその出張所等消防器具を装備し消防署員が常駐する施設は、注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。</p> <p>2. 消防分団等で施設が大きいものは記号で表示する。</p>	
				一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得								
				一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得								
				一般 道路 河川				挿入位置								
建物等	35	17	職業安定所（ハローワーク）	一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得							<p>1. 消防署及びその出張所等消防器具を装備し消防署員が常駐する施設は、注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。</p> <p>2. 消防分団等で施設が大きいものは記号で表示する。</p>	
				一般 道路 河川				挿入位置								
				一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得								
				一般 道路 河川				挿入位置								職業安定所（ハローワーク）は、注記で表示するのを原則とする。ただし、同出張所及び市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。
建物等	35	18	土木事務所	一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得							<p>1. 消防署及びその出張所等消防器具を装備し消防署員が常駐する施設は、注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。</p> <p>2. 消防分団等で施設が大きいものは記号で表示する。</p>	
				一般 道路 河川				挿入位置								
				一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得								
				一般 道路 河川				挿入位置								職業安定所（ハローワーク）は、注記で表示するのを原則とする。ただし、同出張所及び市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。
建物等	35	19	役場支所及び出張所	一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得							<p>1. 消防署及びその出張所等消防器具を装備し消防署員が常駐する施設は、注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。</p> <p>2. 消防分団等で施設が大きいものは記号で表示する。</p>	
				一般 道路 河川				挿入位置								
				一般 道路 河川				記号の表示位置の点情報を取得								
				一般 道路 河川				挿入位置								職業安定所（ハローワーク）は、注記で表示するのを原則とする。ただし、同出張所及び市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。

建物等

大分類	分類コード	名	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通用	備考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
建物記号	レイヤ	21 神社	一般	一般	一般	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4			
			一般	一般	一般	一般									
			一般	一般	一般	一般									
建物記号	レイヤ	22 寺院	一般	一般	一般	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	神社・寺院・キリスト教会およびその他神道教会（教団等に類する教会で規模の大きなものを含む。）は、注記で表示するのを原則とする。ただし、小規模なものは記号で表示する。		
			一般	一般	一般	一般									
			一般	一般	一般	一般									
建物記号	レイヤ	23 キリスト教会	一般	一般	一般	一般		記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4			
			一般	一般	一般	一般									
			一般	一般	一般	一般									

建物等

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考		
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値
建物記号	35	24	学校	一般道路河川	一般道路河川	一般道路河川	一般道路河川		点	E5	挿入位置		4	<p>学校は、学校教育法による学校（幼稚園、各種学校は除く）について注記で表示するのを原則とする。ただし、狭小で注記を表示することが困難な場合又は市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。</p>				
																一般道路河川	一般	
																一般道路河川	一般	
建物記号	25	幼稚園・保育園	一般道路河川	一般道路河川	一般道路河川	一般道路河川		点	E5	挿入位置		4	<p>幼稚園・保育園は、注記で表示するのを原則とする。ただし、神社、寺院、教会等に併設されたものは記号で表示することができる。</p>					
															一般道路河川	一般		
															一般道路河川	一般		
建物記号	26	公会堂・公民館	一般道路河川	一般道路河川	一般道路河川	一般道路河川		点	E5	挿入位置		4	<p>公会堂・公民館は、規模の大きなものは注記で表示するのを原則とする。ただし、規模の小さいもの又は市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。</p>					
															一般道路河川	一般		
															一般道路河川	一般		









建物等

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
建物等	35	27	博物館	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	一般の利用に供されている博物館をいう。		
				一般道路 河川											
		28	図書館	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	一般の利用に供されている図書館をいう。		
				一般道路 河川											
		29	美術館	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	一般の利用に供されている美術館をいう。		
				一般道路 河川											
	30	老人ホーム	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	1. 老人ホームは老人福祉法の老人施設のうち養護老人ホーム、特別養護老人ホーム及び軽老人ホームをいう。 2. 規模の大きな老人ホームは、注記で表示することを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。			
			一般道路 河川												挿入位置
	31	保健所	一般道路				記号の表示位置の点情報を取得	点	E5		4	保健所は、注記で表示するのを原則とする。ただし、市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合は記号で表示する。			
			一般道路 河川												挿入位置

建物等

大分類	分類コード	項目	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考					
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値			
建物等	32	病院	院	一般	一般	一般		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4	<p>病院とは、医療法に基づき病院、規模の大きな療養所及び規模の大きい診療所をいう。</p> <p>2. 医療法に基づき病院及び規模の大きな療養所は、注記で表示することを原則とする。</p> <p>3. 前項において市街地等において重要な地物を抹消するおそれがある場合及び規模の大きい診療所は記号で表示する。</p>							
				一般	一般	一般										記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4
				一般	一般	一般														
建物等	34	銀行	行	一般	一般	一般		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4	<p>銀行は、銀行（支店を含む）及び信用金庫に適用し、記号で表示することを原則とする。ただし、規模が大きく特に必要と認められるものは注記で表示することができる。</p>							
				一般	一般	一般										記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4
				一般	一般	一般														
建物等	36	協同組合	協同組合	一般	一般	一般		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4	<p>協同組合（農業協同組合、漁業協同組合、林業協同組合及び酪農協同組合）をいう。</p> <p>協同組合（農業協同組合、漁業協同組合、林業協同組合及び酪農協同組合）は注記で表示することを原則とする。ただし、支所・出張所は記号で表示する。</p>							
				一般	一般	一般										記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4
				一般	一般	一般														

建物等

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通用	備考
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
建物等	35		39	デパート	一般道路			点	E5		4	デパート（スーパーマーケットを含む）をいう。				
					河川	一般道路										
				倉庫	一般道路			点	E5	倉庫は、専用に使用されているものについて記号で表示するのは注記する。						
					河川	一般道路										
				火薬庫	一般道路			点	E5	火薬庫は、専用に使用されているものについて記号で表示するのは注記する。						
					河川	一般道路										
工場	一般道路			点	E5	工場は、注記で表示するのを原則とする。ただし、小規模なものは記号で表示する。	工場をいう。									
	河川	一般道路														

建物等

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考									
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値							
建物記号	35	建物記号	49	発電所	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般 道路 河川		記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5		4	発電所をいう。										
																	一般 道路 河川	一般 道路 河川		記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5	4	図上の送電線に接続しない小規模なものは、記号で表示する。変電所の鉄骨部分は、その外周を送電線の記号で囲んで表示する。 1. 変電所は、注記で表示するのを原則とする。ただし、図上の送電線に接続しない小規模なものは、記号で表示する。 2. 変電所の鉄骨部分は、その外周を送電線の記号で囲んで表示する。
																	一般 道路 河川	一般 道路 河川		記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5	4	揚水機埵は、農業用及び工業用等のために設けられたものをいい、特に規模の大きなものは、注記で表示する。
河川	河川		記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5	4																		
									河川	河川		記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5	4									



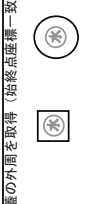

建物等

大分類	分類コード	項目目次	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	用途	備考														
				500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値												
建物等	56	橋・排水機場	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般 道路 河川		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4	橋・排水機場は、農業用及び工業用等のために設けられたものをいい、特に規模の大きなものは、注記で表示する。															
														一般 道路 河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5	橋排水ポンプ場は、農業用及び工業用等のために設けられたもので、規模の大きなものを記号で表示する。ただし、特に規模の大きなものは、注記で表示する。							
																					河川	一般		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5	排水機場は、農業用及び工業用等のために設けられたものをいい、特に規模の大きなものは、注記で表示する。
57	排水機場	一般 道路 河川	河川	河川		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4	橋排水ポンプ場は、農業用及び工業用等のために設けられたものをいい、特に規模の大きなものは、注記で表示する。																
													59	公衆便所	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般 道路 河川		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4	公共のために供することを目的に作られたものをいう。			
60	ガソリンスタンド	一般 道路 河川	一般 道路 河川	一般 道路 河川		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4	ガソリンスタンド（ガソリンスタンド等を含む）をいう。	ガソリンスタンド（ガソリンスタンド等を含む）をいう。															
														記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5		4	ガソリンスタンド（ガソリンスタンド等を含む）をいう。	ガソリンスタンド（ガソリンスタンド等を含む）は、原則としてすべて記号で表示する。							

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	図形区分	データ	レコード			
小 公 共 施 設 体	レイヤ	01	マンホール (未分類)	一般 道路 河川	2.0		蓋の外周を取得 (終了点座標一致) 極小 点位置情報を取得 挿入位置	E1 E3	面 円	E5	3	共同溝、ガス、電気、電話、下水、上水以外のマンホール 及び分類のない場合に用いる。	
	19	有線柱	一般 道路 河川	1.0		柱の位置と架線の方向を取得 架線が無い場合は点で取得	E5 E6	点 方 向	有	3	電話柱、電力柱を除く有線柱をいう。		
													21
	31	マンホール (電話)	一般 道路 河川	2.0		蓋の外周を取得 (終了点座標一致) 極小 点位置情報を取得 挿入位置	E1 E3	面 円	E5	3	電話施設のマンホールをいう。		
													32

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	用途	備考
			500	1000	2500		5000	図形区分	データ	レコード			
小 公 共 施 設 体	レイヤ	41	マンホール（電気）	一般 道路 河川	2.0		面 円	E1 E3			3	電力施設のマンホールをいう。	
	42	電力柱	一般 道路 河川	1.0		点 方向	E5 E6	有			3	電力線を支える柱をいい、電話線が架設されているものを含む。	
	51	マンホール（下水）	一般 道路 河川	2.0		面 円	E1 E3				3	下水道施設のマンホールをいう。	
51													
61	マンホール（水道）	一般 道路 河川	2.0		面 円	E1 E3				3	上水道施設のマンホールをいう。		

小物体

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
その他小物体	42		01	墓 碑	一般 道路 河川			<p>台座があるものは、台座の外周を取得 (始終点座標一致)</p>	面	E1			<p>独立して1個又は数個が存在し、墓地として表示できない場合に表示する。</p>		
								<p>記号の表示位置の点情報を取得</p>	点	E5		<p>1. 墓碑は、独立して1個又は数個が存在し、墓地として表示できない場合に表示する。 2. 短辺が図上2.0mm以上の台石を有するものは、台石の正射影を人工斜面(図式分類コード61-01)又は被覆(図式分類コード61-10)等の記号を適用して表示し、該当する位置に記号を表示する。 3. 数個がまとまって存在する場合は、主要なものを表示するか又はその中央に表示する。 4. 墓碑が建物内にあり、その建物の大きささが図上0.5mm以上の場合は、建物として表示し、当該記号は表示しない。ただし、建物の側壁がなく、主体が墓碑の場合は、当該記号で表示する。 5. 記号の真位置は、記号下辺の影を除いた中央とする。</p>			
								<p>台座があるものは、台座の外周を取得 (始終点座標一致)</p>	面	E1		<p>記念碑のうち主要なものをいう。</p>			
								<p>記号の表示位置の点情報を取得</p>	点	E5					<p>1. 記念碑は、規模が大ききものを表示する。 2. 短辺が図上2.0mm以上の台石を有するものは、台石の正射影を人工斜面(図式分類コード61-01)又は被覆(図式分類コード61-10)等の記号を適用して表示し、該当する位置に記号を表示する。 3. 数個がまとまって存在する場合は、主要なものを表示するか又はその中央に表示する。 4. 記念碑が建物内にあり、その建物の大きさが図上0.5mm以上の場合は、建物として表示し、当該記号は表示しない。ただし、建物の側壁がなく、主体が記念碑の場合は、当該記号で表示する。 5. 記号の真位置は、記号下辺の影を除いた中央とする。</p>

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
その他小物体	レイヤ	03 立像	一般 道路 河川				面	E1				銅像、石像等で主要なものを用いる。 1. 立像（銅像及び石像等）は、精線が大きいものを表示する。 2. 短辺が図上2.0mm以上の台石を有するものは、台石の正射影を人工斜視（図式分類コード61-01）又は披覆（図式分類コード61-10）等の記号を適用して表示し、該当する位置に記号を表示する。 3. 致面がほとんど存在する場合は、主要なものを表示するか又はその中央に表示する。 4. 立像が建物内にある、その建物の大きさが図上0.5mm以上の場合は、建物として表示し、当該記号は表示しない。ただし、建物に脚座がなく、主体が立像の場合は、当該記号で表示する。 5. 記号の真位置は、記号下辺の影の部分を除いた中央とする。	
						点	E5						
その他小物体	レイヤ	04 路傍祠	一般 道路 河川			面	E1				特に著名なもの又は好目標になるものを用いる。 1. 路傍祠は、特に著名なもの又は好目標となるものを表示する。 2. 記号の真位置は、記号下辺の影の部分を除いた中央とする。		
					点	E5							

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード
小物体	42	05 灯ろう	一般	道路	河川		取得方法は、台座の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	灯ろうのうち主要なものをいう。	
						一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点			
			一般	道路	河川		取得方法は、台座の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	
小物体	42	06 狛犬	一般	道路	河川		取得方法は、台座の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	狛犬のうち主要なものをいう。	
						一般	道路	河川		位置の点情報と向きを取得 挿入位置	方向			
		一般	道路	河川		脚は外周を取得 傾斜は、射影の中心線を取得	線	E2				3	鳥居は、脚の位置を主柱の真位置とし、正射影の方向に一致させて表示する。ただし、極小の記号に満たないものは、極小の記号で表示する。 2. 鳥居が連続して存在する場合は、適宜省略して表示することができる。	
小物体	42	07 鳥居	一般	道路	河川		取得方法は、台座の外周を取得 (始終点座標一致)	線	E2			3	鳥居は、脚の位置を主柱の真位置とし、正射影の方向に一致させて表示する。ただし、極小の記号に満たないものは、極小の記号で表示する。 2. 鳥居が連続して存在する場合は、適宜省略して表示することができる。	
						一般	道路	河川		脚は外周を取得 傾斜は、射影の中心線を取得	方向			
		一般	道路	河川		脚は外周を取得 傾斜は、射影の中心線を取得	線	E2					1. 鳥居は、脚の位置を主柱の真位置とし、正射影の方向に一致させて表示する。ただし、極小の記号に満たないものは、極小の記号で表示する。 2. 鳥居が連続して存在する場合は、適宜省略して表示することができる。	

小物体

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ			
その他小物体	レイヤ	11	官民境界杭	(道路) (河川)	500	1000	2500	5000		位置の点情報を取得	点	E5		<p>公有地と私有地を区別するために設置された杭をいう。「製品仕様書」による。</p>
										挿入位置				
										位置の点情報を取得	点	E5		
	15	消火栓	一般道路 河川	一般道路 河川		位置の点情報を取得	点	E5		<p>消防用に設置された水道栓のうち平面状のものをいう。</p>				
						挿入位置								
						位置の点情報を取得	点	E5						
	16	消火栓 立型	一般道路 河川	一般道路 河川		位置の点情報を取得	点	E5		<p>消火栓のうち地上に突出した形状のものをいう。</p>				
						挿入位置								
						位置の点情報を取得	点	E5						
	17	地下換気孔	一般道路 河川	一般道路 河川		真形 外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		<p>地下通路 (地下鉄を含む) の換気用に設けられた換気口をいう。</p>				
						記号の表示位置の点情報を取得	点	E5						
						挿入位置								
	19	坑口	一般道路 河川	一般道路 河川		真形 坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		<p>坑口の入口をいう。</p>				
						挿入位置								
						真形 坑口部分の外周を取得	線	E2						
						真形 中央位置の点と方向を取得	方向	E6	有					
						真形 坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1						
						真形 坑口部分の外周を取得	線	E2						
	42	坑口	一般	一般		真形 坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		<p>1. 坑口は、坑口の入口及び及び河川が地下に出入りする部分に垂示する。ただし、一般河川の溝路又は鉄道と交差する部分における坑口の記号は表示しない。正射影の幅が図上1.5mm未満の場合は、種小の記号を正射影の方向と一致させて6号線に表示する。</p>				
挿入位置														
真形 坑口部分の外周を取得						線	E2							
真形 中央位置の点と方向を取得						方向	E6	有						
真形 坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致)						面	E1							
真形 坑口部分の外周を取得						線	E2							

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
その他の小物体	レイヤ	21	独立樹 (広葉樹)	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5		3	1. 独立樹は、単独の大きな樹木又は数株の大きな樹木が集合するもの、着名なものを表示する。 2. 記号の真位置は、記号下辺の影の部分を除いた中央とする。	
				一般	一般										
	22	独立樹 (針葉樹)	一般	道路	河川		記号の表示位置の点情報を取得	挿入位置	点	E5		3	1. 独立樹は、単独の大きな樹木又は数株の大きな樹木が集合するもの、着名なものを表示する。 2. 記号の真位置は、記号下辺の影の部分を除いた中央とする。		
			一般	一般											3
	23	噴水	一般	道路	河川		真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛揃一致)	挿入位置	面	E1		3	観賞用に水を噴出させる設備をいう。射影形の中央に表示する。		
	24	井戸	一般	道路	河川		真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛揃一致)	挿入位置	面	E1		3	地下水を汲み上げて利用するための施設をいう。		
	25	油井・ガス井	一般	道路	河川		真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛揃一致)	挿入位置	面	E1		3	現在採取中のもので、目標となる施設を有するものをいう。		
						真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛揃一致)	挿入位置	点	E5			油井・ガス井は、現に採取中のものを表示する。			

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
その他小物体	レイヤ	26	貯水槽	一般 道路 河川	2.0	真形	構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛算一致)	面	E1			3	水を利用するために蓄えた貯水槽をいう。	
						極小	記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5					
	27	肥料槽	一般 道路 河川	2.0	真形	構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛算一致)	面	E1			3	肥料を蓄えるために建造されたものをいう。		
					極小	記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5						
	28	起重機	一般 道路 河川	2.0	真形	構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛算一致)	面	E1			3	常設されたものをいう。	1. 起重機は、常設され規模の大きいものを表示する。 ただし、多数集合しているものについては、集約を 表現するよう適宜省略する。 2. 軌道等で移動する起重機は、その移動範囲の中央に 記号を表示し、その範囲が図上おおむね2.0m以上 のものは、移動範囲に区境界（図式分類コード62 -01）の記号を適用する。	
					極小	記号の表示位置の点情報を取得 挿入位置	点	E5						





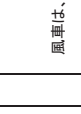





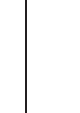



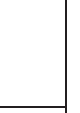

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考		
			500	1000	2500		5000	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値	
小物体	レイヤ	タンク	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	水、油、ガス、飼料等を貯蔵するために地上に設置されたタンクをいう。		
								真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛精一致)		面	E1					
								真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛精一致)		点	E3					
小物体	レイヤ	タンク	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	石油、ガス等のタンクは、直径が図上2.0mm以上のものについてその正射形を表示する。ただし、直径が2.0mm未満であっても、多数が集合している場合には、累計を表示するよう種小の記号で表示する。		
								真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛精一致)		面	E1					
								真形 構造物の外周を線情報で取得 (始終点盛精一致)		点	E3					
小物体	レイヤ	給水塔	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	塔の上に水槽を設置したものをいう。		
								真形 基部の外周を取得 (始終点盛精一致)		面	E1					
								真形 基部の外周を取得 (始終点盛精一致)		点	E3					
小物体	レイヤ	火の見	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	火の見檣及び簡易火の見（棒状）をいう。		
								真形 基部の外周を取得 (始終点盛精一致)		面	E1					
								真形 基部の外周を取得 (始終点盛精一致)		点	E3					

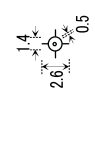
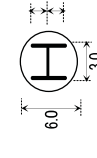






小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
その他小物体	34	煙突	一般 道路 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			3	<p>規模が大きくなるものをいう。</p>	
						記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5					
						真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1					
						記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5					
	35	高塔	一般 道路 河川		真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		有		3	<p>特に高くそびえている工作物のうち、教会の鐘楼、展望台等記号が定められていないものをいう。</p> <p>1. 高塔は、特に高くそびえている工作物のうち、送電線の鉄塔、教会の鐘楼、展望台、独立した給水塔等記号が定められていないものを表示する。</p> <p>2. 高塔は、基部の正射影を表示する。ただし、図上1.0mm未満の場合は、種小の記号を図郭下辺に平行に表示する。</p>	
					記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5						
					真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E3						
					記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5						
	36	電波塔	一般 道路 河川		真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1				3	<p>テレビ、ラジオ、無線電等の送受信を目的に構築されたものをいう。</p> <p>1. 電波塔は、テレビ、ラジオ、無線電等の送受信を目的に構築されたものを表示する。その基部の正射影に高塔(図式分類コード42-35)の記号を適用し、その中央に電波塔の記号を表示する。</p>	
					記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5						
					真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1						
					記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5						

小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考	
			500	1000	2500		5000	図形区分	データ	レコード				方向
その他小物体	レイヤ	37	一般	道路			取得方法: 記号表示位置を点情報で取得 	点	E5			3	照明のために作られたものをいう。	
			一般	道路			取得方法: 記号表示位置を点情報で取得 	点	E5			3	街路等に設置された専用柱を持つものをいう。	
	39	風車	一般	道路	河川		取得方法: 記号表示位置を点情報で取得 	面	E1			3	風車は、発電を目的に構築されたものをいう。 1. 風車を目的に構築されたものを表示する。 2. 基部の大きさが図上2.0mm以上のものは、基部の正射影に高塔（図式分類コード42-35）の記号を適用し、その中央に風車の記号を表示する。	
			一般				取得方法: 記号表示位置を点情報で取得 	点	E5					
	41	灯台	一般	道路	河川		取得方法: 真形 基部の外周を取得 (始終点照準一致) 記号表示位置を点情報で取得 	面	E1			3	航路標識のうち、灯台をいい、灯火装置のある部分を表示する。 1. 灯台は原則としてすべて表示する。 2. 基部の大きさが図上3.0mm以上の場合は、基部の正射影を表示し、記号の中心と灯台の中心とを一致させて表示する。 3. 航空用灯台は、記号に(空)の説明は記(図式分類コード81-81)を添えて表示する。	
			一般				取得方法: 真形 基部の外周を取得 (始終点照準一致) 記号表示位置を点情報で取得 	点	E5					
	42	航空灯台	一般	道路	河川		取得方法: 真形 基部の外周を取得 (始終点照準一致) 記号表示位置を点情報で取得 	面	E1			3	航空機が位置の確認等を行うように一定の信号電波を発する施設をいう。	
			一般				取得方法: 記号表示位置を点情報で取得 	点	E5					

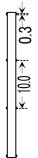


小物体

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考	
			500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ	レコード				方向
その他の小物体	42	灯標	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	面	E1			3	灯標は、航路標識のうち、灯標、灯柱及び導標について、固定された規模の大きなものを表示する。	
									点	E5					
その他の小物体	45	ヘリポート	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	真形 構造線の外周を取得 (始終点座標一致) 	円	E3			3	ヘリコプターの離着陸のための施設で、常設のものをいう。	
								点	E5			挿入位置 			
その他の小物体	51	水位観測所	道路 河川	500	1000	2500	5000	真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	面	E1			3	水位観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。	
								点	E5			挿入位置 			
その他の小物体	42	流量観測所	道路 河川	500	1000	2500	5000	真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	面	E1			3	流量観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。	
								点	E5			挿入位置 			
その他の小物体	53	雨量観測所	道路 河川	500	1000	2500	5000	真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 	面	E1			3	雨量観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。	
								点	E5			挿入位置 			

小物体

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目名	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
				500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ	レコード			
その他の小物体	42		54	水質観測所	道路 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 極小 中央位置を点情報で取得 	面	E1			3	水質観測所をいい、すべて注記を併記する。河川図以外については、小規模なものは省略する。	
			55	波浪観測所	一般 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 極小 中央位置を点情報で取得 	面	E1			3	波浪観測所をいい、注記を原則とする。	
			56	風向・風速観測所	一般 道路 河川			真形 基部の外周を取得 (始終点座標一致) 極小 中央位置を点情報で取得 	面	E1				3	風向・風速観測所をいい、注記を原則とする。
			61	輸送管 (地上)	一般 道路 河川			外周を取得 (始終点座標一致) 	面	E1			3	水、油、ガス、輸送管は、水、油、ガス、ガソリン等を輸送する管で目録になるものをいう。大規模な輸送管はその内容によって (水)、(油)等の注記を添えて表示する。	
					一般						2	1. 輸送管は、水、油、ガス、ガソリン等を輸送するものでその直径が50cm以上、長さが図上おおむね2.0mm以上のものを地上及び空間 (地上1.0m以上を標準とする) に区分して表示する。ただし、この基準を満たさないものであっても、重要なものについては表示することができる。 2. 輸送管は、正射影の方向に一致させて表示する。 3. 大規模な輸送管は、その内容によって (水) 又は (油) 等の説明注記 (図式分類コード81-81) を添えて表示する。 4. 輸送管の地下の部は表示しない。			

小物体

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考	
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード
その他の小物体	42			輸送管 (空間)	一般 道路 河川			外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1	有	3	地上1.0 m以上の高さに設置された輸送管をいう。		
								中心線を取得	47	線	E2					
								外周を取得 (始終点座標一致)		面	E1	有	2	1. 輸送管は、水、油、ガス、ガソリン等を輸送するものでその直径が50cm以上、長さがおおむね2.0m以上、ものを地上及び空間（地上1.0m以上を標準とする）に区分して表示する。ただし、この基準に満たないものであっても、重要なものについては表示することができる。 2. 輸送管は、正射影の方向に一致させて表示する。 3. 大規模な輸送管は、その内容物によって（水）又は（油）等の説明注記（図式分類コード81-81）を添えて表示する。 4. 輸送管の地下の部は表示しない。		
								中心線を取得 (始終点座標一致)		線	E2					
送電線	65		送電線	一般 道路 河川			中心線を取得 (鉄塔間で区切らず連続データとする)		線	E2		3	おおむね20 k v 以上の高圧電流を送電するものをいう。	○		
								線	E2		2					1. 送電線は、おおむね20kV以上の高圧電流を送電するものについて表示するの原則とする。ただし、地中にある部分は表示しない。 2. 送電線は正射影の方向に一致させて表示する。 3. 送電線の鉄塔は、高さ（図式分類コード42-35）の記号を適用し、木柱及びコンクリート柱は表示しない。

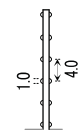
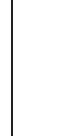

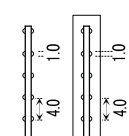
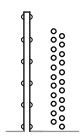
水部等

大分類	分類コード	レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考											
					500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード	方向	属性数値								
水部等	51	01	河川	河川 (湖池等)	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	図式	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	適用	備考	線号	○						
																			取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	
																			取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	
																			取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	
																			取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	
																			取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	
	52	02	細	一流河川	一流河川	一般	500	1000	2500	5000	図式	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	適用	備考	線号	○					
																				取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値
																				取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値
																				取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値
																				取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値
																				取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値
53	03	かれ川	かれ川	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000	図式	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値	適用	備考	線号	○							
																		取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値		
																		取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値		
																		取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値		
																		取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値		
																		取得方法		図形区分	データ	レコード	方向	属性数値		

水部等

大分類	分類コード	名	地図情報レベル	図式	データタイプ				線号	適用	備考
					取得方法	図形区分	データ	レコード			
水部等	04	水路	500		界線を取得	線	E2		3	流水部の幅が図上0.4mm以上の用水路を表示する。	
			1000								
	05	湖	一般		界線を取得	線	E2		3	湖、池、沼等（人工的に貯水したものを含む）の水涯線をいい、河川の表示法に従って表示する。注記されないものには「W」記号を添える。	
			一般		図郭に対して平行垂直入力 W 挿入位置	点	E5		3		
	06	海岸線	一般		界線を取得	線	E2		3	満潮時における海岸の水涯線をいい、河川の表示法に従って表示する。 図上海部としては識別し難い場所においては記号を表示する。	
					記号表示位置を取得	点	E5				
	07	水路 地下部	一般		界線を取得	線	E2		3	河川、用水路等における地下の部分で、経路の明確なものについて表示する。	
地下水路線を取得					点	E5					
11	低位水涯線（干潟線）	一般		界線を取得	線	E2		3	低潮位において、海面上に表れる砂泥地における海水節との境をいう。		

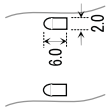
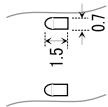
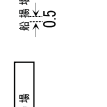
水部等

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目目次	名称	地図情報レベル			図式	取得方法	データタイプ				線号	適用	備考			
					500	1000	2500			5000	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値	
水部に関する構造物	52		02	棧橋(鉄、コンクリート)	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000		海面を右に外周を取得	線	E2	有	4	船舶の乗降用に水部に突出した形状のもので、鉄製又はコンクリート製のものをいう。			
											棧橋(鉄、コンクリート)	—	—	—	—	1. 棧橋は、その射影の幅が図上0.4mm以上で、長さが図上4.0mm以上のものを表示する。 2. 棧橋(鉄・コンクリート)は、その射影により被覆(小)(図式分類コード61-10)の記号を適用する。			
			03	棧橋(木)	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000		外周を取得	線	E2	—	—	4	棧橋のうち、木製のものをいう。		
											棧橋(木製・浮棧橋)	—	—	—	—	棧橋は、その射影の幅が図上0.4mm以上で、長さが図上4.0mm以上のものを表示する。			
			04	棧橋(浮き)	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000		外周を取得	線	E2	—	—	4	棧橋のうち、水底に固定されていないものをいう。		
											図新に対して平行垂直入力 (浮)	点	E5	—	—	3			
			11	防波堤	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000		直ヒ 低い方を右に取得	線	E2	有	—	—	4	波浪を制御する堤防、埠頭、海岸浸食を防ぐ突堤等をいう。	○
											射影部(上端線) 低い方を右に取得	11	—	—	—				
											射影部(下端線) 高い方を右に取得	12	—	—	—				
			—	—	—	—	—	一般 道路 河川	500	1000	2500	5000		被覆(図式分類コード61-10)参照 透過水制(図式分類コード52-32)参照	—	—	—	防波堤は、その規模、量況等により被覆(図式分類コード61-10)又は透過水制(図式分類コード52-32)の記号を適用する。ただし、その頂の幅が図上0.2mm未満の場合は0.2mmで表示する。	

水部等

大分類	分類コード	項目名	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考	
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード
水部に 関する 構造物	52	12	護岸 被覆	一般 道路 河川				直上 低い方を右に取得					4	浸食を防ぐために、水際を固めたものをいう。	
		13	護岸 杭 (消波ブロック)	一般 道路 河川				11 線 射影部 (上端線) 低い方を右に取得 内部りん形点は自動発生して表示 射影部 (下端線) 高い方を右に取得	線	E2	有		4	波を弱めるために、水中から水上にかけて規則的に置かれた構造物の集合体をいう。	
		14	護岸 捨石	一般 道路 河川				線 説明注記 線状に入力 消波ブロック 外周を取得	線	E2			4	水勢をそぐために、水中に投げ入れられた石をいう。	
		19	坑口 トンネル	一般 道路 河川				面 真形 坑口部分の外周を取得 (始終点座標一致) 真形 坑口部分の外周を取得 真形 中央位置の点と方向を取得 極小 $\begin{matrix} \nearrow \\ \searrow \end{matrix}$ $\begin{matrix} X \\ Y \end{matrix}$ $\begin{matrix} \rightarrow \\ \rightarrow \end{matrix}$	面	E1				3	水路が地下に出入りする部分をいう。

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
水部に 関する 構造物	レイヤ	21 渡船発着所	一般 道路 河川	一般		表示位置の点と方向を取得					3	<p>1. 渡船発着所は、定期的に人や車を運搬する船舶の発着所及び遊覧船の発着所に適用し、著名なもの又は規模の大きなものは注記を添えて表示するのを原則とする。</p> <p>2. 発着地点に棧橋がある場合は、進行方向に記号の先端を向けて表示する。</p> <p>3. 発着地点に棧橋がない場合は、河川においては記号の先端を上流に向けて表示し、湖池等においては記号が倒立しないように表示する。表示する際は、河川の幅が狭い場合は、その中央に記号を表示する。</p>		
						真形 外面を取得 (橋梁点座標一致)				4	<p>船の陸揚げ等を行うための構造物をいう。</p>			
						説明注記 線状に人力				3				
水部等	レイヤ	22 船揚場	一般 道路 河川	一般		真形 外面を取得 (橋梁点座標一致)					4	<p>ダムとは、洪水の調整、発電、上水道、農工業等のための各種用水の貯水を目的として設けられた工作物をいいます。砂防ダムを含むものとします。</p> <p>2. ダムは、その形態により設置 (図式分類コード61-10) 及び人工斜面 (図式分類コード61-01) の記号を適用する。</p>		
						説明注記 線状に人力								
		ダム	一般	一般		設置 (図式分類コード61-10) 参照 人工斜面 (図式分類コード61-01) 参照								

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
水部に関する構造物	52	滝	一般 道路 河川			真形(上流部) 低い方を右に取得	11	線	E2	有		4	地形的段差により流水が急激に落下する場所をいう。	
						真形(下流部) 高い方を右に取得	12	方向	E6	有				
水部に関する構造物	26	滝	一般			真形(上流部)	11	線	E2			4	1. 滝とは、流水が急激に落下する場所をいい、高さがおおむね3.0m以上のものを表示する。 2. 滝は、上端は河川を横断して4号線を描き、射影部は下流側に直径0.3mmの小円形をりん形に描いて表示する。 3. 滝の幅が図上0.8mm未満のものは、極小の記号で表示する。	
						真形(下流部)	12	方向	E6	有				

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ						線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
水部に関する構造物	52	き	一般 道路 河川			真形(水通し上流部) 中心線を取得 	11					4	流水の制御や河床の保護を目的として設けられた工物又は用水の取水等のため河川を横断して設けられた工物等をいい、その主要なものを表示する。		
						真形(水通し下流部) 中心線を取得 	12	線	E2						
						真形(非越流部) 外周を取得 	99								
						縮小 中央位置の点情報と方向を取得 		方向	E6	有					
						真形(上流部) 中心線を取得 	11								
						真形(下流部) 中心線を取得 	12	線	E2					1. せきとは、流水の制御や河床の保護を目的として設けられた工物又は用水の取水等のため河川を横断して設けられた工物等をいい、その主要なものを表示する。 2. せきのうち、常時水面上にある部分は、その正射影を重線で表示し、常時溢流する部分は、破線を上流側に描いて表示する。	
						縮小 中央位置の点情報と方向を取得 		方向	E6	有					

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	図形区分	データ	レコード			
水部に 関する 構造物	28	水門	一般	道路	河川		線	E2			4	取排水、水量調節等のために設けられた工作物をいう。ドックは入口に水門記号を表示する。	
							方向	E6	有		4	1. 水門とは、取排水、水量調節等のために設けられた工作物をいい、正射影を表示する。ただし、極小の記号に満たないものは、極小の記号で表示する。 2. ドックは次の例に準じて入口に水門記号を表示する。	
52	31	不透過水制	一般	道路	河川		射影部 (上端線) 低い方を右に取得	E2	有		4	流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいう。その構造によって不透過水制と透過水制に区分する。	
							射影部 (下端線) 高い方を右に取得	11					
							裾履 (図式分類コード61-10)参照					1. 水制とは、流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいい、平水時に水面上に露出し、その長さが図上おおむね4.0m以上のもものについて、表示する。 2. 不透過水制は、裾履 (図式分類コード61-10) の記号を適用する。ただし、その頂部の幅が図上0.2mm未満のものは、0.2mmとして表示する。	

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考	
			500	1000	2500		5000	図形区分	データ	レコード				方向
水部に 関する 構造物	レイヤ	項目	一般	道路	河川		真形	外面を取得 (始終点座標一致)					流水の制御又は河岸及び海岸の洗掘防止を目的として設けられた工作物をいう。その構造によって不透水制御と透過水制御に区分する。	
							32	透過水制	一般		真形	外面を取得 (始終点座標一致)		
	レイヤ	項目	(河川)				真形	外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1	3	水制の水面に隠れた部分について表示する。「製品仕様書」による。		
							33	水制水面下						
	レイヤ	項目	一般	道路	河川		真形	外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1	4	護岸のための工作物で露況に従って表示する。長いものは中間を省略することができる。		
							35	根固	説明注記	線状に人力	注記			E7
	レイヤ	項目	一般	道路	河川		真形	外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1	4	護岸のための工作物で露況に従って表示する。長いものは中間を省略することができる。		
							36	床固	説明注記	線状に人力	注記			E7
レイヤ	項目	一般	道路	河川		真形	外面を取得 (始終点座標一致)	面	E1	4	護岸のための工作物で露況に従って表示する。長いものは中間を省略することができる。			
						37	床固	説明注記	線状に人力	注記			E7	3

水部等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	図形区分	取得方法	データ			
水部に 関する 構造物	52	蛇籠	一般 道路 河川				真形 外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		4	長いものは中間を省略することができる。	
							説明注記 線状に入力	注記	E7	3			
	52	敷石斜坡	一般 道路 河川	一般			外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1		3	漁港等における敷石斜坡は、外周の正射影を表示する。	
							表示位置の点と方向を取得					河川の流水方向が図上で容易に識別できない場合には表示する。	
	52	流水方向	一般 道路 河川	一般			表示位置の点と方向を取得	方向	E6	有	6	1. 流水方向は、河川の流水方向が図上で容易に識別できない場合には表示する。 2. 流水方向の記号は、川幅が広い場合は河川の中央部に、川幅が狭く記号が入らない場合は、河川の記号を指断して表示する。	
							記号 表示位置の点情報を取得					河口又は河川の合流点から、100m又は200mごとに河岸に設置する標識をいう。	
52	距離標	河川				記号 表示位置の点情報を取得	点	E5		3	河川の水位の観測に用いる標識をいう。		
						記号 表示位置の点情報を取得	点	E5	3				

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	通用	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード			
土地法面	61	01 人工斜面	一般 道路 河川			上端線 低い方を右に取得	11			有	3	盛土部及び切土により人工的に作られた急斜面（道路、鉄道等の盛土部及び切土部、造成地の急斜面等）をいう。頂部を裏線、傾斜部分は長ケハと短ケハを交互に射影の1/2間隔に表示する。長ケハの長さは射影幅、短ケハの長さは射影幅の1/2とする。長いものは最小1.0mm最大10.0mmとし中間を省略することができる。
						下端線 高い方を右に取得	12					
		01 人工斜面	一般		上端線 低い方を右に取得	11	線			2	1. 人工斜面とは、盛土及び切土により人工的に作られた急斜面（道路、鉄道等の盛土部及び切土部、土堤土垣、ダム、造成地の急斜面等）をい、原則として斜面の傾斜が2/3以上、高さが1.5m以上であって長さか図上1.0mm以上のものについて表示する。ただし、この基準に満たないものであっても、地域の景観を著す必要があると認められるものについては表示することができる。 2. 土砂採取場等の変化する急斜面は、土がけ（図式分類コード72-01）又は岩がけ（図式分類コード72-11）の記号を適用する。 3. 正射影の幅が図上0.5mm未満のものは省略することができる。 4. 人工斜面は、頂部を裏線で表示し、傾斜部分は長ケハと短ケハを交互に射影の1/2間隔で表示する。長ケハの長さは射影幅、短ケハの長さは射影幅の1/2とする。 5. 斜面の頂部が道路線の場合は、道路線をもって頂部を兼ねさせる。	
土地法面	61	02 土堤	一般 道路 河川		上端線 低い方を右に取得	11			有	3	被覆のない堤防及び軟地等の周囲にある盛土をいう。長いものは中間を省略することができる。ケハの長さは最小1.0mm最大10.0mmとし表示する。	
					下端線 高い方を右に取得	12						
		02 土堤	一般		上端線 低い方を右に取得	11	線			2	土堤等とは、被覆のない堤防及び軟地等の周囲にある盛土をい、人工斜面（図式分類コード61-01）の記号で表現できない形状のものについて表示する。	
03 表法肩の法線	河川		法線を取得						3	河川法第3条第2項の河川管理施設である堤防の表法肩の法線をいう。		

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	通 用	備 考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード			
土 地 利 用 等	61	10 被覆				直上 低い方を右に取得	11	線	E2	有	4	<p>1. 被覆とは、道路、河岸、海岸等の斜面を保護するためのコンクリート、石積等の堅固な工作物をい、その高さが1.5m以上、長さが図上1.0cm以上のものを表示する。ただし、この基準に満たないものであっても、周囲の景観により必要と認められるものについては表示することができる。</p> <p>2. 被覆は、上線を4号線、他を2号線で描き、上線の線には直径0.4mmの半円を2.0mm間隔に付す。また、その内部に直径0.3mmの円点を上線より1.5mm間隔に表示する。この場合、円点は下線から0.2mm以上離すものとする。この場合、円点を被覆(大)という。ただし、幅が図上0.6mm以上1.0mmまでのものは、円点を表示しない。</p> <p>3. 前項で、図上0.4mm未満のものは、被覆(小)の記号で表示する。</p>
						射影部(上端線)低い方を右に取得	11	線	E2	有	4	
						射影部(下端線)高い方を右に取得	12	線	E2	有	2	
土 地 利 用 等	61	11 コンクリート被覆			直上 低い方を右に取得	11	線	E2	有	3	<p>道路河岸、海岸等の斜面を保護するための堅固な工作物のうち、コンクリート製のものをいう。周縁を描き、上線の線に半円を配し、その内部に円点を表示する。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。</p>	
					射影部(上端線)低い方を右に取得	11	線	E2	有	3		
					射影部(下端線)高い方を右に取得	12	線	E2	有	3		
土 地 利 用 等	61	12 ブロック被覆			直上 低い方を右に取得	11	線	E2	有	3	<p>斜面又は斜面を保護するためのブロック製の被覆をいう。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。周縁を描き、上線の線に四角を配し、その内部に円点を表示する。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。</p>	
					射影部(上端線)低い方を右に取得	11	線	E2	有	3		
					射影部(下端線)高い方を右に取得	12	線	E2	有	3		

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	適用	備考	
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
土地利用等	61	石積被覆	一般 道路 河川			直上 低い方を右に取得						斜面又は側面を保護するための石積み被覆をいう。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。	○
		21	法面保護 (網)	一般 道路 河川			真形 外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			盛土又は切土部の法面を網で覆っているものをいう。	3
							内部りん形点は自動発生して表示						
							真形 外周を取得 (始終点座標一致)						
22	法面保護 (モルタル)	一般 道路 河川			真形 外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			モルタルで法面を覆っているものをいう。	3		
					内部りん形点は自動発生して表示								
23	法面保護 (コンクリート柵)	一般 道路 河川			真形 外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1			コンクリート柵で法面を覆っているものをいう。	3		

土地利用等

大分類	分類コード	分類レイヤ	項目名	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通用	備考
				500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
土地利用等	61	30	さく(未分類)	一般	道路	河川		中心を取得	線	E2		3	建物及び敷地の周辺を区画するための生け垣、鉄さく等の工作物をいう。	
			かき	一般								4	1. かきとは、建物及び敷地の周辺を区画するためのトタンペイ、生かき、鉄さく等の工作物をいい、高さがおおむね1.5m以上、長さが図上おおむね1.0m以上のものを表示する。 2. 前号において、建物が密集し表示することが困難な場合には、省略することができる。	
		31	落下防止さく	一般	道路	河川		中心を取得	線	E2		3	さくの構造、材質に関わらず落石を遮ることを目的に設置されたものをいう。	
		32	防護さく	一般	道路	河川		ガードレール 道路を左に見て中心を取得 両端の波部分は自動発生して表示する	線	E2	有	3	防護さくをいう。(ガードレール、ガードパイプ)	
		33	遮光さく	一般	道路	河川		中心を取得	線	E2		3	光を遮ることを目的として設置されたさくをいう。	
		34	鉄さく	一般	道路	河川		中心を取得	線	E2		3	金属製のさくをいう。	

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
土地利用等	61	36	生垣	一般 道路 河川			中心を取得	線	E2		3	生垣、竹垣等をいう。		
		37	土囲	一般 道路 河川			中心を取得	線	E2		3	盛土による構囲をいう。		
	40	へい (未分類)	一般 道路 河川			内側を右にみて中心を取得	線						建物及び敷地の周辺を区画するための囲壁をいう。	
		へい	一般			内側を右にみて中心を取得	線			有	4	1. へいとは、建物及び敷地の周辺を区画するためのついで石、コンクリート等で作られた堅ろうな工 作物をいい、高さがおおむね2.0m以上、長さが図上 おおむね4.0m以上のものを表示する。 2. へいのうち、高さがおおむね2.0m未満、長さが図上 おおむね4.0m未満のものはかき（図式分類コード 61-30）の記号により表示する。		
	41	堅ろうへい	一般 道路 河川			内側を右にみて中心を取得	線			有		6	石、コンクリート、れんが、ブロック等により作られた 堅ろうな囲壁をいう。	
		簡易へい	一般 道路 河川			内側を右にみて中心を取得	線			有		3	板、トタン等で作られた囲壁をいう。	

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	通用	備考												
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値										
土地利用等	62	区域界	一般 道路 河川				界線を取得	線	E2			3	区域界は、境界のうち特に他の地区と区別する必要がある場合で、その区域が地物線で表示できない場合に適用する。													
															11	空地	一般 道路 河川				記号表示位置を点情報で取得 (空) 挿入位置	点	E5		3	特に定められた記号のない場をいい、建物密集地の必要部分に表示する。
	13	花壇	一般 道路 河川				記号表示位置を点情報で取得 (花) 挿入位置	点	E5		3	公園、広場等で鑑賞のために花を植えてある場所をいう。														

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
土地利用等	62	園庭	一般 道路 河川		一般		記号表示位置を点情報で取得	点	E5		3	庭園、公園、宅地、道路の分離帯、工場等の周辺にある継ぎあいは隠すためのため栽培する灌木の集合しているところをいう。	
											<p>庭園とは、庭園、公園、宅地、道路の分離帯及び工場等の周辺にある継ぎあいは隠すためのため栽培する灌木の集合しているものをいい、記号を意図的に配置して表示する。ただし、園庭の記号で表示することが不適当な居住地等の周辺の樹木は、広葉樹林（図式分類コード63-31）、針葉樹林（図式分類コード63-32）等の記号を適宜適用する。</p>		
	墓地	一般 道路 河川		一般		記号代表点を取得 作図データでは、区画線と墓碑で取得しても良い。	点	E5			3	墓の集合しているところをいう。	
										<p>墓地は、その区域を地物線で表示できない場合は、植生界（図式分類コード63-01）の記号により外周を表示し、その内側に墓碑（図式分類コード42-01）の記号を表示する。</p> <p>2. 図上おおむね3.0cm×3.0cm以上のものについては、墓碑（図式分類コード42-01）の記号を定間隔に記列して表示する。ただし、区域の形状によって定間隔に記号を表示することが困難な場合は、適宜記号の間隔をせはめて表示することができる。</p>			
62	材料置場	一般 道路 河川		一般		記号表示位置を点情報で取得	点	E5			3	木材、石材、鉱石等を集積するための土地又は水面で、おおむね図上2.0m平方以上のものをいう。工場等の敷地内にある材料置場は表示しない。注記を併記する。	
										<p>材料置場とは、木材、石材、鉱石等を集積するための土地又は水面をいい、おおむね図上2.0cm×2.0cm以上のものについて表示する。</p> <p>2. 工場等の敷地内にある材料置場は表示しない。</p>			

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	通用	備考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード
土地利用等	62	噴火口・噴気口	一般	道路	河川		記号表示位置を点情報で取得	挿入位置	点	E5		3	現に噴火・噴気しているものをいう。	
			一般	道路	河川									
	一般	道路	河川		記号表示位置を点情報で取得	挿入位置	点	E5		3	温泉水に基づく温泉又は鉱泉の泉源をいう。注記を併記する。			
	一般	道路	河川										1. 温泉・鉱泉とは、温泉法に基づく温泉及び鉱泉をい ハ、主要なものを表示する。 2. 温泉及び鉱泉の記号は、泉源の位置に表示するのを原則とする。ただし、泉源と浴槽が離れている場合には、浴槽の位置にも表示することができる。	

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					通 用	備 考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方 向		
土 地 利 用 等	62	陵 墓	一般 道路 河川			記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5			天皇又は皇族の墓が独立あるいは数個存在するもので著名なものは注記を併記する。	
			一般 道路 河川									
	24	古 墳	一般 道路 河川			記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5			古代の支配階級を葬ってある盛土された墓で有名なものは注記を併記する。	
			一般 道路 河川									
	25	城・城跡	一般 道路 河川			記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5			古城あるいはその形跡が現存しているもので著名なものは注記を併記する。	
			一般 道路 河川									
	26	史跡・名勝・天然記念物	一般 道路 河川			記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5			文化財保護法で指定されているものをいう。	
			一般 道路 河川									
	31	採石場	一般 道路 河川			記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5			土木建築用等の石材を採取する場所で、現在採掘中のものをいう。	
			一般 道路 河川									
32	土 取 場	一般 道路 河川			記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5			土木建築用等の土を採取する場所で、現在採掘中のものをいう。		
		一般 道路 河川										
33	採 鉱 地	一般 道路 河川			記号表示位置を点情報で取得 挿入位置	点	E5			鉱石を採掘する場所で、現在採掘中のものをいう。		
		一般 道路 河川										











土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	適用	備考	
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
土地利用等	01	植生界	一般	道路		中心を取得				3	異なった植生の区分に適用する。未耕地間の植生界は原則として表示しない。		
			一般	河川		線	E2	線	1. 植生界は、異なった植生の区分に適用する。ただし、茶林地間の植生界は原則として表示しない。 2. 植生界が区画界（図式分離コード62-01）と同一する場合、区画界を優先して表示する。				
	02	耕地界	一般	道路		中心を取得				3	同一種類の耕地の境で、一区画の短辺が図上おおむね2.0cm以上のものをいう。		
			一般	河川		線	E2	線	2 耕地界とは、同一種類の耕地の境界をいい、一区画の短辺が図上おおむね2.0cm以上のものを表示するを原則とする。ただし、この基準に満たないものでも、図上必要と認められるものについては表示することができる。				
	11	畑	一般	道路		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得					2	畑は、水稲、蓮、い草、わさび、せり等を栽培している土地に適用し、季節により畑作物を栽培する土地を含む。	
			一般	河川		点	E5	点	挿入位置	湿田、乾田及び沼田とし、季節により畑作物を栽培する畑をいう。			
	12	はす田	(一般)	(道路)		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得					2	はすを栽培する土地をいう。「製品仕様書」による。	
			一般	河川		点	E5	点	挿入位置				
	13	畑	一般	道路		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得					2	麦、陸稲、野菜、芝等を栽培している土地をいう。	
			一般	河川		点	E5	点	挿入位置	畑は、麦、陸稲、野菜、芝、牧草等を栽培している土地に適用する。			

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
土地利用等	14	さとうきび畑	(一般) (道路) (河川)				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置	点	E5		2	さとうきびを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。		
	15	パイナップル畑	(一般) (道路) (河川)				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置	点	E5		2	パイナップルを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。		
	16	わさび畑	(一般) (道路) (河川)				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置	点	E5		2	わさびを栽培している土地をいう。「製品仕様書」による。		
	17	桑畑	(一般) (道路) (河川)				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置	点	E5		2	桑畑は、桑を栽培している土地に適用する。		
	18	茶畑	(一般) (道路) (河川)				記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置	点	E5		2	茶畑は、茶を栽培している土地に適用する。		

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	適用	備考	
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード				方向
土地利用等	63	19 果樹園	一般	道路 河川		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点	E5		2	果樹園は、果樹を栽培している土地に適用する。		
			一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点						
	21 その他の樹木畑	一般	道路 河川		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点					2	その他の樹木畑は、桐、はぜ、こうぞ、庭木等を栽培している土地及び苗木畑に適用する。	
		一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点							
	22 牧草地	一般	道路 河川		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点					2	牧草を栽培している土地をいう。	
		一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点							
23 芝地	一般	道路 河川		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点					2	芝地は、芝を植えて管理している庭園、ゴルフ場及び運動場等に適用する。		
	一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点								
31 広葉樹林		一般	道路 河川		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点				2	樹高2.0m以上の広葉樹が密生している土地をいう。		
			一般			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得	点					広葉樹林は、樹高2.0m以上の広葉樹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。	

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					線号	適用	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
土地利用等	32	針葉樹林	一般	道路 河川		点	E5			2	樹高2.0m以上の針葉樹が密生している土地をいう。 針葉樹林は、樹高2.0m以上の針葉樹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		
			一般			点	E5			2	樹高2.0m以上の竹が密生している土地をいう。 竹林は、樹高2.0m以上の竹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		
	33	竹	一般	道路 河川		点	E5			2	樹高2.0m以上の竹が密生している土地をいう。 竹林は、樹高2.0m以上の竹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		
			一般			点	E5			2	樹高2.0m以上の竹が密生している土地をいう。 竹林は、樹高2.0m以上の竹が密生している地域に適用する。ただし、植林地は樹高2.0m未満でも適用する。		
	34	荒地	一般	道路 河川		点	E5			2	裸地、雑草地等の地域に適用する。		
			一般			点	E5			2	裸地、雑草地等の地域に適用する。		
	35	はい松地	一般	道路 河川		点	E5			2	はい松地は、はい松又ははい松以外の松の密生している地域に適用する。		
			一般			点	E5			2	はい松地は、はい松又ははい松以外の松の密生している地域に適用する。		




土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線号	適用	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード			
土地利用等	63	やし科樹林	一般	道路 河川		点	E5		2	やし科樹林は、やし科、へご科、たこのき科等の植物が 発生している地域に適用する。		
	36	しの地(笹地)	一般	道路 河川		点	E5		2	しの地は、しの又は笹の密生している地域に適用する。		
	38	湿地	一般	道路 河川		点	E5		2	1. 湿地は、常時水を含み、土地が軟弱で湿地性の植物 が生育している土地に適用する。 2. 湿地の範囲は、雑生界（図式分類コード63-01）の 記号を適用して表示する。		

土地利用等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ					線号	通 用	備 考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード	方 向			
土 地 利 用 等	40	砂れき地 (未分類)	一般 道路 河川			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置 S	点	E5			2	1. 砂れき地は、砂又はれきで覆われている土地に適用する。 2. 砂れき地は、その範囲を境界（図式分類コード63-01）の記号を適用して表示し、中央部に砂れき地の記号を表示する。	
		砂れき地		一般		記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置 S	点	E5			2	砂で覆われている土地をいう。	
	41	砂 地	一般 道路 河川			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置 S	点	E5			2	れきで覆われている土地をいう。	
	42	れ き 地	一般 道路 河川			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置 G	点	E5			2	れきで覆われている土地をいう。	
	45	干 潟	一般 道路 河川			記号表示位置又は記号代表点を点情報で取得 挿入位置 —	点	E5			2	低潮位において満面上に表れる砂泥地をいう。	

地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル	図式	取得方法		データタイプ				線番号	適用	備考
					取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値			
地形等 等高線	01	等高線(計曲線)	500		等高線を取得 標高値は属性数値(単位:mm)	線	E2	有	4	0mの主曲線及びこれより計算して5本目ごとの主曲線をいう。地図情報レベル1000以下は5mごと、2500では10mごと、5000では25mごとの等高線を表示する。	○	等高線を含む。	
			1000			注記	E7		4				
			2500			線	E2	有	4				
			5000			注記	E7		4				
			一般			線	E2	有	4				
			一般			注記	E7		4				
	71	02	等高線(主曲線)	500		等高線を取得 標高値は属性数値(単位:mm)	線	E2	有	2	平均海面から計算して1mごとの等高線をいう。	○	等高線を含む。
				1000			注記	E7		4			
				2500			線	E2	有	2			
				5000			注記	E7		4			
				一般			線	E2	有	2			
				一般			注記	E7		4			
03	等高線(補助曲線)	500		等高線を取得 標高値は属性数値(単位:mm)	線	E2	有	2	地図情報レベル2500では平均海面から計算して2mごと、5000では5mごとの等高線を表示する。	○	等高線を含む。		
		1000			注記	E7		4					
		2500			線	E2	有	2					
		5000			注記	E7		4					
		一般			線	E2	有	2					
		一般			注記	E7		4					

地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル	図式	データタイプ			線号	適用	備考		
					取得方法	図形区分	データ					
地形等	71	04 等高線 (特殊補助曲線)	500		線	E2	有	2	主曲線の1/4の間隔の等高線で、補助曲線で適切な地形表現ができない部分について適用する。	○	等高線を含む。	
			1000		注記	E7	4					
		05 凹地 (計曲線)	一般	1000		線	E2	有	4	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、0mの主曲線及びこれより起算して5m以内の主曲線をいう。	○	等高線を含む。
				5000	注記	E7	4					
		06 凹地 (主曲線)	一般	1000		線	E2	有	2	人工構築物との合成で生じた以外の凹地をいい、1mごとの等高線をいう。	○	等高線を含む。
				5000	注記	E7	4					
				500		線	E2	有	2	凹地 (計曲線) (図式分類コード71-05) の適用を参照。	○	
				1000	注記	E7	4					

地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線番号	適用	備考	
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ				レコード
地形等高線	71	07 凹地（補助曲線）	一般 運路 河川			高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm）	線	E2	有	有	2	人工建築物との合成で生じた以外の凹地をいい、主曲線の1/2間隔の等高線をいう。	○	等深線を含む。
						$0.5 \dots 2.0$ （地図情報レベル500） $0.5 \dots 1.5$ （地図情報レベル1000）	注記	E7			4			
						高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm）	線	E2	有	有	2			
			一般			$1.5 \dots 1.5$	注記	E7		4				
		08 凹地（特殊補助曲線）	一般 運路 河川			高い方を左にみるように等値線を取得 標高値は属性数値（単位：mm）	線	E2	有	有	2	人工建築物との合成で生じた以外の凹地をいい、主曲線の1/4間隔の等高線をいう。	○	等深線を含む。
				$4.5 \dots 2.0$ （地図情報レベル500） $4.5 \dots 1.5$ （地図情報レベル1000）	注記	E7			4					
		99 凹地（矢印）	一般			2点目 1点目 接点側に矢を自動発生して表示する	線	E2	有	有	2	凹地（小）は、凹地を示す等高線と直行する長さ2.0mm～4.0mmの矢印を、高い方から最低部の方向に向けて表示する。		

地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線番号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
地形等	01	土がけ(崩土)	一般	道路	河川		11	線	E2	有	2	土砂の崩壊等によって自然にできたがけ状の急斜面をいう。頂部を示す線と射影線を示す短線を頂部から最大傾斜方向へ2.0mmまで表示し、それ以上の射影線は下端を破線で表示する。	○
							12	点	E5	4			
	02	雨裂	一般	道路	河川		11	線	E2	有	2	1. 土がけとは、土砂の崩壊等によって自然にできた急斜面をいう。急斜面の正射影を表示する。 2. 土がけの表示は、頂部を実線で表示し、傾斜を示す短線は頂部を示す実線から最大傾斜方向に最大図上2.5mmを表示し、それ以上の場合は正射影の下端を破線で表示する。 3. 頂部に沿って、正射影の幅が図上1.0mm以上の場合には、適宜の位置に(土)の記号を添えて表示する。	○
							12	点	E5	2			
	03	急斜面	一般	道路	河川		11	線	E2	有	2	土がけが雨水によって流出した鋭溝の状態をいい、土がけの記号で表示する。	○
							12	点	E2	有	2		
						11	線	E2	有	2	雨裂とは、表土が雨水によって流出した状態をいい、その正射影を表示する。ただし、傾斜の大きなものは土がけ(図式分類コード72-01)の記号を適用する。	○	
						12	線	E2	有	2	台地又はたい土等の周辺の傾斜が急で、等高線で表現するのが困難又は表示が明らかにならない地形をいい、土がけの記号で表示する。	○	

地形等

大分類	分コード	名称	地図情報レベル		図式	データタイプ				線番号	備考
			500	1000 2500 5000		取得方法	図形区分	データ	レコード		
地形等	06	洞	一般 道路 河川	1.0 1.5		<p>記号表示位置の点と向きを示す方向を取得</p> <p>X Y</p>	方向	E6	有	2	自然に形成された石段洞、滑岩洞、滑岩洞、トンネル等をいう。洞の向きに合わせて表示する。
	72	11	岩がけ	一般 道路 河川		<p>記号表示位置の点と向きを示す方向を取得</p> <p>X Y</p>	線	E2	有	2	<p>1 岩がけとは、岩でできた急斜面をいい、急斜面の正射影を表示する。</p> <p>2 岩がけの表示は、頂部を山型に表示し、傾斜を示す短線は頂部を頂部から最大傾斜方向に、断面を示す短線は傾斜を示す短線と直角に表示する。傾斜を示す短線は、最大図上2.5mmを表示し傾斜部の下端を破線で表示する。</p> <p>3 前項において、正射影の幅が図上1.0cm以上の場合には、適宜の位置に(岩)の記号を添えて表示する。</p>
	12	露岩	一般 道路 河川		<p>記号表示位置の点と向きを示す方向を取得</p> <p>X Y</p>	<p>図形に対して平行重入力</p> <p>(岩)</p>	点	E5	有	2	<p>1 露岩とは、一部を地表に露出する岩石をいい、河川及び海岸等で露出している岩石を含む。</p> <p>2 露岩の表示は、その露岩を適宜縮小又は修飾し、記号を組み合わせ合わせて表示する。この場合斜面上に表示する岩は、高い側の線を一部省略して表示する。</p>


地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ					線番号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ	レコード			
地形等	13	散岩	一般 運路 河川			高度の高い方を右にみる形で界線を取得 	線	E2				2	地表に散在する岩石をいい、岩礁を含む。 1. 散岩とは、地表に散在する岩石をいい、岩礁を含むものとする。 2. 散岩（大）の表示は、大きさが図上1.5mm×1.5mm以上のものに適用し、その黒線を適宜縮小し、露岩（図式分類コード72-12）の記号を組み合わせて表示する。 3. 散岩（小）の表示は、大きさが図上1.5mm×1.5mm以下のものに適用し、当該位置に記号を表示する。	
						極小 記号表示位置の点を取得 	点	E5		有				
地形等	14	さんご礁	一般 運路 河川		高度の高い方を右にみる形で界線を取得 	線	E2					2	空中写真上で判読できる程度のものについてその外縁を表示する。	
					極小 記号表示位置の点を取得 	方向	E6		有					





地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線番号	備考		
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	子データ			レコード	属性数値
地形等	73	三角点	一般 運路 河川			取得方法	△	点	E5	有	基本測量により設置された三角点をいう。標石の亡失したもののについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
						25.6	挿入位置	△	注記	E7				
						取得方法	△	点	E5	有			三角点とは、基本測量により設置された三角点をいい、すべて数値とする。ただし、標石の亡失したものを測量部下のものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
						25.6	挿入位置	△	注記	E7				
						取得方法	△	点	E5	有			基本測量により設置された水準点をいう。標石の亡失したもののについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
						25.62	挿入位置	□	注記	E7				
	73	02	水準点	一般		取得方法	□	点	E5	有	水準点とは、基本測量により設置された水準点をいい、すべて数値とする。ただし、標石の亡失したものを測量部下のものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
						25.62	挿入位置	□	注記	E7				
						取得方法	□	点	E5	有			基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいう。標石の亡失したもののについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
						25.6	挿入位置	○	注記	E7				
						取得方法	○	点	E5	有			多角点及び標石を有する図根点等とは、基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいい、すべて数値とする。ただし、標石の亡失したものを、トンネル内、測量部下のものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
						25.6	挿入位置	○	注記	E7				
73	03	多角点等	一般		取得方法	⊗	点	E5	有	多角点及び標石を有する図根点等とは、基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいい、すべて数値とする。ただし、標石の亡失したものを、トンネル内、測量部下のものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）			
					25.6	挿入位置	⊗	注記	E7					
					取得方法	⊗	点	E5	有			基本測量により設置された基準点のうち三角点及び水準点以外のものをいう。標石の亡失したもののについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
					25.6	挿入位置	⊗	注記	E7					


地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号	用途	備考			
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	子データ				レコード	方向	属性数値
地形等	73	04 公共基準点 (三角点)	一般 運路 河川			基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	△	点	E5	有	公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものは表示しない。	点名称も含む (但し、点名称は全角文字、数値は半角文字)				
						25.6 挿入位置	注記 E7									
						基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	▽	点	E5	有			公共基準点 (三角点) とは、公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したものは表示しない。	点名称も含む (但し、点名称は全角文字、数値は半角文字)		
						25.6 挿入位置	注記 E7									
						基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	□	点	E5	有					公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものは表示しない。	点名称も含む (但し、点名称は全角文字、数値は半角文字)
						25.62 挿入位置	注記 E7									
	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	⊠	点	E5	有	公共基準点 (水準点) とは、公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された水準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したものは表示しない。	点名称も含む (但し、点名称は全角文字、数値は半角文字)									
	25.62 挿入位置	注記 E7														
	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	⊙	点	E5	有			公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された多角点を、特別に区別して取り扱う場合に「多角点等」に準じて用いる。	点名称も含む (但し、点名称は全角文字、数値は半角文字)							
	25.62 挿入位置	注記 E7														
	基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	⊗	点	E5	有					工事等の遂行のために、コンクリート杭等で堅固に作られた基準点をいう。	点名称も含む (但し、点名称は全角文字、数値は半角文字)					
	25.62 挿入位置	注記 E7														
基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm)	⊕	点	E5	有	工事等の遂行のために、コンクリート杭等で堅固に作られた基準点をいう。	点名称も含む (但し、点名称は全角文字、数値は半角文字)										
25.62 挿入位置	注記 E7															

地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線号		備考	
			500	1000	2500		5000	形状区分	データ	レコード	方向	属性数値		用途
地形等	73	電子基準点	一般	河川	一般		取得方法	点	E5	有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
							形状区分	注記	E7					
							レコード	点						
							方向							
							属性数値							
							備点一致							
	73	08	電子基準点	一般	河川	一般		取得方法	点	E5	有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）
								形状区分	注記	E7				
								レコード	点					
								方向						
								属性数値						
								備点一致						
73	09	公共電子基準点	一般	河川	一般		取得方法	点	E5	有	4	公共測量により設置された公共電子基準点をいう。標高数値は、公共電子基準点付属標の標高を表示する。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
							形状区分	注記	E7					
							レコード	点						
							方向							
							属性数値							
							備点一致							
73	11	標石を有しない標高点	一般	河川	一般		取得方法	点	E5	有	4	標石を有しない標高点とは、公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）により平面位置及び標高を所定の精度で測定した点でない、必要に応じて表示する。簡易水準点の標高は小数点以下2位、その他は小数点以下1位とする。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
							形状区分	注記	E7					
							レコード	点						
							方向							
							属性数値							
							備点一致							

地形等

大分類	分類コード	名称	地図情報レベル			図式	データタイプ				線番号	適用	備考
			500	1000	2500		5000	取得方法	図形区分	データ			
基準点	73	図化機測定による標高点	一般 運路 河川	一般	○ 25.6 $\frac{0.3}{100}$	取得方法 基準点記号又は指示点表示位置を取得 標高値は属性数値 (単位: mm) ●—挿入位置		点	E5	有	4	図化機測定による標高点は必要に応じて表示する。	
	レイヤ					25.6 挿入位置		注記 E7					
地形	75	01	一般 運路 河川	一般		取得方法 グリッド間隔は、地図情報レベル相当の図面上で、2cmを標準とする。 グリッド +	グリッド		G			数値地形モデル法によるグリッド上のデータで、グリッド点を記号で表示し、標高数値をm単位で小数点以下2位までとする。標高数値が小数点以下2位又は3位まである場合は、必要に応じて表示する。	
		11				取得方法 標高値は属性数値 (単位: mm) ●—挿入位置	点	E5	有	数値地形モデル法のグリッドデータを補完するための標高点であり、ランダム点を記号で表示し、標高数値をm単位で小数点以下2位までとする。標高数値が小数点以下2位又は3位まである場合は、必要に応じて表示する。			
		21				取得方法 変形地、人工物等による地形の不連続線等の主な場所について、線状に標高測定を行う。 	線	E2		数値地形モデル法におけるグリッドデータを補完するために取得するもので、形状を実線で表示する。			
		31				取得方法 地表面の三角形 (TIN) 三点を取得 地表面の三角形 (TIN) 三点を取 表面の三角形 (TIN) 三点を取得 不整三角網 51 水表面の三角形 (TIN) 三点を取得 52	不整三角網	T		地表面のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレイクライン、等高線等から生成する。 表面のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレイクライン、等高線等から生成する。 陸地のグリッドデータ、ランダムポイント、ブレイクライン、等高線等から生成する。			
-	81	99	指 示 点	一般 運路 河川	一般	○ $\frac{0.3}{100}$	取得方法 ●—挿入位置	点	E5	4	建物記号、注記を表示する場合に、その対象物の内部に表示できていない対象とするものが特定できない場合に表示する。		

注記

大分類	分類コード		分	表示対象	字 大				字隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備 考 (記載例)	
	レイヤ	項目			データ	500	1000	2500		5000	データ	レコード	小対象物	地域(I)	地域(II)			線状
注記	22	55	交通施設	距離標(Km)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
		56	交通施設	距離標(m)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
	34	04	水部	プール	2.0				1/4	注記	E7		○			全角		
	52	水部に関する構造物等	13		護岸杭(消波ブロック)	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
			14		護岸 捨石	2.0				1	注記	E7				○	全角	
			22		船揚場	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
			35		根固	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
			36		床固 陸部	2.0				1	注記	E7				○	全角	
			37		床固 水面下	2.0				1	注記	E7				○	全角	
			38		シャコゴ	2.0				1/4	注記	E7				○	全角	
	71	等高線数値	01		等高線(計曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
			02		等高線(主曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
			03		等高線(補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
			04		等高線(特殊補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
			05		凹地(計曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
			06		凹地(主曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
			07		凹地(補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
			08		凹地(特殊補助曲線)	2.0	1.5			1/4	注記	E7				○	半角	
	73	基準点等	01		三角点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	点名称を入れる場合は全角文字とする
			02		水準点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
			03		多角点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
			04		公共基準点(三角点)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角	
05				公共基準点(水準点)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
06				公共基準点(多角点)	2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
07				その他基準点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
08				電子基準点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
09				公共電子基準点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
11				標石を有しない標高点	2.0				1/4	注記	E7	○				半角		
12		図化標高点	2.0	1.5				1/4	注記	E7	○			半角				

注記

大分類	分類コード	分	表示対象	字 大				字隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備 考 (記載例)			
				レイヤ	項目	類	500		1000	2500	5000	データ	レコード	小対象物			地域(I)	地域(II)	線状
注記	81	行政区画	10	市・東京都の区	6.0	5.0		1/2~7	注記	E7		○			全角				
			11	町・村・指定都市の区	5.0	4.5		1/2~7	注記	E7		○			全角				
			12	市町村の飛地	3.5	3.0		1/4~7	注記	E7	○	○	○		全角				
			13	大区域	4.5	4.0		1/4~5	注記	E7		○	○		全角	大字の上に公称としてあるもの			
			14	大字・町・丁目	4.5	3.5		1/4~3	注記	E7		○	○		全角	町・丁目は大字に対応するもの			
			15	小字・丁目	3.5	3.0		1/4~3	注記	E7		○	○	○	全角	丁目は小字に対応するもの			
			居住地名	16	通り	3.5	3.0		1/4~3	注記	E7		○	○	○	全角			
				17	その他の地名(大)	5.0	3.5		1/4~3	注記	E7		○	○		全角	通称及び俗称等に用いる		
				18	その他の地名(中)	4.0	3.0		1/4~3	注記	E7		○	○	○	全角			
				19	その他の地名(小)	3.0			1/4~3	注記	E7		○	○	○	全角			
		交通施設	21	道路の路線名	3.5	3.0		1/2~5	注記	E7				○	全角				
			22	道路施設、坂、峠、インターチェンジ等	3.0	2.5		1/4~1	注記	E7	○	○	○	○	全角				
			23	鉄道の路線名	3.5	3.0		1/2~5	注記	E7				○	全角				
			24	鉄道施設 駅、操車場、信号所	3.0	2.5		1/4~3	注記	E7	○	○	○	○	全角				
			25	橋	3.0	2.5		1/4~5	注記	E7	○			○	全角				
			26	トンネル	3.0	2.5		1/4~5	注記	E7	○			○	全角				
		建物	31	建物の名称	3.0	2.5		1/4~3	注記	E7	○	○	○		全角				
			34	建物の付属物	3.0	2.5		1/4	注記	E7	○				全角				
			小物体	40	マンホール	2.0			1/4	注記	E7	○				全角			
				41	電 柱	2.0			1/4	注記	E7	○				全角			
		42		その他の小物体	3.0	2.5		1/4	注記	E7	○				全角	輸送管は線状対象物の注記法			
		水部	51	河川、内湾、港	4.0	3.0	3.5		1/4~5	注記	E7	○	○	○	○	全角			
				一条河川			2.5		1/4~5	注記	E7	○	○		○	全角			
				湖 池			3.0		1/4~5	注記	E7					全角			
				岬、崎、鼻、岩礁	3.0	2.5		1/4~5	注記	E7	○	○	○		全角				
							2.5										1/4~1		
				河岸、河原、洲、浜、磯	3.5	3.0		1/4~5	注記	E7	○	○		○	全角				
				山、島	3.5	3.0		1/4~5	注記	E7	○	○	○		全角				
		52	水部施設、ダム	3.0	2.5		1/4~1	注記	E7	○	○	○	○	全角	羽村堰 岩淵水門				
			せき、水門、渡船発着所	2.5		1/4~1													
			堤防	2.5		1/4~5													
53	地下水部	4.0	3.0		1/4~5	注記	E7				○	全角							

注記

大分類	分類コード	分	表示対象	字大				字隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備考 (記載例)		
				レイヤ	項目	500	1000		2500	5000	データ	レコード	小対象物	地域(I)			地域(II)	線状
注記	81	土地利用等	61	法面、構囲	2.5	2.0			1/4~3	注記	E7	○	○	○		全角		
			62	諸地、場地 公園、牧場、飛行場 運動場、ゴルフ場等	3.5	2.5			1/4~5								全角	
				公園、運動場、牧場、飛行場、ゴルフ場、材料置場、温泉、採鉱地、採石地、城跡、史跡名勝、天然記念物等			2.5		1/4~5	注記	E7	○	○	○	○		全角	
			63	植生	3.0	2.5			1/4~1	注記	E7	○	○	○		全角	森林、原野、果樹園	
							2.5											
			71	山地	山	3.5	3.0			1/4~5	注記	E7	○	○	○		全角	
							3.0			1/4~3								
			71	山地	尖峰、丘、塚	3.0	2.5			1/4~5	注記	E7	○	○	○		全角	
							2.5			1/4~1								
			71	山地	谷、沢	3.0	2.5			1/2~3	注記	E7	○	○		○	全角	
							2.5											
			81	説明注記 (本文中に規定されているものを除く)	2.5		2.0			1/4~2	注記	E7	○	○	○	○	全角	(建設中) (宅地造成中) (油) (整理中)
	助字		親字の60%															
	ふり仮名		1.5															

- 注1 字隔は、対象物の大小、字数の多少及び資格等を考慮して表の範囲で選択する。ただし、小対象物の注記法による場合の字隔は、すべて1/4とする。
- 2 対象物の面積及び長さにより規定の字大の適用が困難な場合、又は不適切な場合は、字大を0.5mm小さくすることができる。
- 3 本表に記載されていないものは、表中の類似物の注記規定による。
- 4 各字大における文字の線の太さは、次の線号を標準とする。

字大	2.0mm	2.5~3.0mm	3.5~4.0mm	4.5~5.0mm
線の太さ	0.15mm	0.20mm	0.25mm	0.35mm

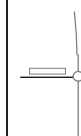
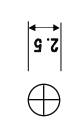

三角点、水準点、多角点、現地測定による標高点及び図化機により測定した標高点、等高線数値の線の太さは、0.20mmとする。

公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表 応用測量


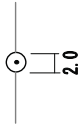

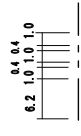

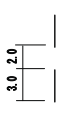

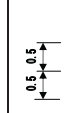


線形図

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ				線号	適用	備考
				取得方法	図形区分	データ	レコード			
交通施設	01	IP (IP杭)		記号表示位置の点を取得	点	E5		3	中心線測量のIP点をいう。	
				IP点間の方向線を取得	線	E2		3	IP点間に引いた方向線をいう。	
	03	主要点 (役杭)		記号表示位置の点を取得	点	E5		3	中心線測量のBC, EC等の主要点をいう。	
				中心点の要素を取得 (属性区分81, 属性データの書式(A55))	属性	E8	有		中心点の要素をいう。路線属性区分 (必須)・路線番号 (選択)・測点名 (必須)・単距離 (必須)・追加距離 (必須)で構成され、属性は省略可能である。書式は、"A2.15.4X.A24.18.112"とする。単距離は、前測点からの距離をmm単位で記述する。追加距離は、路線の開始点からの追加距離をmm単位で記述する。	
	04	中心点 (中心杭)		記号表示位置の点を取得	点	E5		3	中心線測量のBC, EC等の主要点をいう。	
			中心点の要素を取得 (属性区分81, 属性データの書式(A55))	属性	E8	有		中心点の要素をいう。路線属性区分 (必須)・路線番号 (選択)・測点名 (必須)・単距離 (必須)・追加距離 (必須)で構成され、属性は省略可能である。書式は、"A2.15.4X.A24.18.112"とする。単距離は、前測点からの距離をmm単位で記述する。追加距離は、路線の開始点からの追加距離をmm単位で記述する。		
05	中心線	直線		直線区間を始点から終点方向に取得	線	E2	有	3	中心線の直線区間をいう。	
		円弧		円弧区間を始点から終点方向に取得	円弧	E4	有	3	中心線の円弧区間をいう。	
		クロノイド		クロノイド区間を始点から終点方向に取得	線	E2	有		3	中心線のクロノイド区間をいう。
		その他の緩和曲線		その他の緩和区間を始点から終点方向に取得	線	E2	有	3	中心線のその他の緩和区間をいう。	

線形図

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ				線号	用途	備考				
				取得方法	図形区分	データ	レコード				方向	属性数値		
線形図 交通施設	05		属性	中心線の要素を取得（属性区分82、属性データの書式A84）					中心線の要素をいう。路線属性区分（必須）・路線番号（選択）・I.P.番号（選択）・開始測点名（選択）・緩和曲線開始距離（必須）・終了測点名（選択）・緩和曲線終了距離（必須）・半径又はパラメータ（必須）・左右区分（必須）で構成され、属性は省略可能である。書式は、"A2.15.14.A24.18.A24.18.18.11"とする。開始測点名は、路線中心線の各スパンにおける始点側緩和曲線開始距離は、中心線の形状がクロソイドの場合、クロソイドの基準となる位置（直線側端点）から路線の進行方向上の始点側測点位置までの距離をmm単位で記述する（直線部は0）。開始測クロソイドは開始距離よりも終了距離の方が大きくなり、終了測クロソイドはその逆となる。終了測測点名は、路線中心線の各スパンにおける終点側緩和曲線終了距離は、中心線の形状がクロソイドの場合、クロソイドの基準となる位置（直線側端点）から路線の進行方向上の終点側測点位置までの距離をmm単位で記述する（直線部は0）。半径又はパラメータは、中心線の形状が円弧、またはクロソイドの場合、半径、またはパラメータAをmm単位で記述する。線形の形状で、直線なら0、路線の進行方向に向かって右カーブなら1、左カーブなら2を記述する。	有				
		06	その他の路線結線		中心線以外の線を取得		線	E2	3	中心線以外の路線結線をいう。				
		07	役桁引出線		中心線の進行方向に対して役桁より直角に取得		線	E2	3	役桁において中心線に直角に要素を表示するために引かれた線をいう。				
		11	多角点（記号）		記号表示位置の点を取得		点	E5	3					
		12	参照（線）		多角点と中心線両方を取得		線	E2	3					

用地

大分類	分類コード	項目名	名称	図式	データタイプ					線号	通 用	備 考
					取得方法	図形区分	データ	レコード	方 向			
土地 地利 利用 等	65	01	中心杭		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5			4	中心線の測点（役杭を含む）をいう。	
		02	用地杭		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5			4	用地杭（幅杭を含む）をいう。	
		11	起業地の境界		用地境界線を取得	線	E2			3	用地取得境界線（幅杭線を含む）をいう。	
		12	用地取得予定線		用地境界線を取得	線	E2			3	用地取得境界線をいう。 公図等転写図に使用する。	
		13	大字の境界		大字の境界線を取得	線	E2			7	大字の境界線をいう。 大字名の注記は、8114 を使用する。	
		14	字の境界		字の境界線を取得	線	E2			7	字の境界線をいう。 字名の注記は、8115 を使用する。	
		15	土地の境界		土地の境界線を取得	線	E2			3	土地の境界線を言う。	
		16	一筆地内の異なる地目の境界		地番内で地目が異なる境界を取得	線	E2			2	地番内で地目が異なる境界線をいう。	
		17	一筆地内の異なる権利の境界		地番内で権利の異なる境界を取得	線	E2			2	地番内で権利の異なる境界線をいう。	
		18	一筆地内の異なる占有者の境界		地番内で占有者の境界を取得	線	E2			3	地番内で占有者がある場合の境界線をいう。	

用地

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ					線号	用途	備考	
				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値
土地利用等	19	同一所有者記号		隣り合った土地の所有者が同じ場合に共有する線上に円弧を取得	円弧	E4			2	隣り合った土地の所有者が同じで片方の所有者名を省略する場合に記号を入れる。		
				石杭 記号表示位置の点を取得	71	点	E5			3	境界点に石杭が埋設してあるものをいう。	
	21	境界標		コンクリート杭 記号表示位置の点を取得	72	点	E5			3	境界点にコンクリート杭が埋設してあるものをいう。	
				合成樹脂杭 記号表示位置の点を取得	73	点	E5			3	境界点に合成樹脂杭が埋設してあるものをいう。	
				不銹鋼杭 記号表示位置の点を取得	74	点	E5			3	境界点に不銹鋼杭が埋設してあるものをいう。	
				その他 記号表示位置の点を取得	75	点	E5			3	境界点に鉄等が打設してあるものをいう。	
				境界計算点 記号表示位置の点を取得	76	点	E5			3	延長上の交点等で求めた点をいう。	
	22	公共施設の境界線（道路区域界）		道路の区域線を取得	線	E2			3	道路の区域界とは、道路法第2条第1項に規定された道路にあっては道路法施行規則第4条の2第4項第1号の道路の区域の境界線、道路法第2条第2項に規定する以外の道路にあってはこれに準ずる境界線をいう。		
	23	公共施設の境界線（河川区域界）		河川の区域線を取得	線	E2			3	河川の区域界とは、河川法第6条第1項の河川区域又は同法第100条第1項の規定により指定された河川について準用される同法第6条第1項の区域及びその他の公共の用に供する水路である河川の境界線をいう。		

用地

大分類	分類コード	項目名	名称	図式	データタイプ					線号	通 用	備 考			
					取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				属性数値		
土地利用等	65	41	拡大参照枠		拡大して詳細を表示する外周を取得（始終点座標一致） 	面線 円	E1 E2 E3			3	部分的に拡大詳細図を作成する場合の範囲をいう。				
		42	引き出し線		引き出し線を取得 	線	線	E2			3	寸法等で表示場所が制約される場合に別な場所に引き出す線をいう。			
		51	配電線路		電柱の中心位置と架線の方向を取得 	方向	方向	E6	有			3	電力柱をいう。		
		52	送電線路		外枠は支持物の敷地を取得し、内枠は支持物の基礎を取得（始終点座標一致） 	面線	面線	E1 E2				3	送電線の鉄塔をいう。	○	
		53	通信線路		電柱の中心位置と架線の方向を取得 	方向	方向	E6	有			3	電話柱をいう。		
		54	鉄道・軌道		電柱の中心位置と架線の方向を取得 	方向	方向	E6	有			3	鉄道の電柱をいう。		
		55	その他の路線		電柱の中心位置と架線の方向を取得 	方向	方向	E6	有			3	その他の電柱をいう。		

整飾

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ					線号	通 用	備 考
				取得方法	図形区分	データ	レコード	方 向			
	01	図枠 (外枠)		図枠外側の線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2			3	図枠の外側に引かれた線をいう。	○
	02	図枠 (内枠)		図枠内側の線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2			6	図枠の内側に引かれた線をいう。	○
	03	タイトル (外枠)		タイトルの外枠線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2			4	図面の右下に書かれたタイトルの外枠線をいう。	○
	04	タイトル (罫線)		タイトル内の罫線を取得	線	E2			3	図面の右下に書かれたタイトル内の罫線をいう。	
	05	凡例 (外枠)		凡例の外枠線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2			4	図面内の要素を示す凡例の外枠線をいう。	○
	06	凡例 (罫線)		凡例内の罫線を取得	線	E2			3	図面内の要素を示す凡例内の罫線をいう。	
	07	作表 (外枠)		作表の外枠線を取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2			4	作表の外枠線をいう。	○
	08	作表 (罫線)		作表内の罫線を取得	線	E2			3	作表内の罫線をいう。	
	11	方眼線		座標の方眼線を取得	線	E2			3	図面内に表示された基準座標を示す方眼線をいう。	
	12	方眼点		記号表示位置の点と方向を取得	線	E1			3	図面内に表示された基準座標を示す方眼点をいう。	

整飾

大分類	分類コード	項目名	名称	図式	データタイプ					線号	通 用	備 考
					取得方法	図形区分	データ	レコード	方 向			
地形等	79	13	方位		方位の図柄線を取得		線	E2 E3		3	平面図等の座標の北を示す方位をいい、図柄データで表示する。	
		14	方眼紙 (5cm)	_____	方眼紙の5cm間隔の線を取得		線	E2		3	方眼紙をあらわす線をいう。	
		15	方眼紙 (1cm)	_____	方眼紙の1cm間隔の線を取得		線	E2		2	方眼紙をあらわす線をいう。	
		16	方眼紙 (1mm)	_____	方眼紙の1mm間隔の線を取得		線	E2		1	方眼紙をあらわす線をいう。	

注記

大分類	分類コード		分	表示対象	字 大		字隔	データタイプ		注記法の区分			全角・半角	備 考 (記載例)
	レイヤ	項目			500	1000		データ	レコード	小対象物	地域(I)	地域(II)		
注記	82	整飾	01	図面タイトル	7.0	1/4~3	注記	E7	○				全角・半角	
			02	図面縮尺	5.0	1/4~3	注記	E7	○				全角・半角	
			03	地区名	5.0	1/4~3	注記	E7	○				全角・半角	
			04	計画機関名	5.0	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角	
			05	作業機関名	5.0	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角	
			06	作成年月日	5.0	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角	
			07	タイトル(文字)	4.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
			08	凡例(文字)	4.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
			09	作表(文字)	2.5	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
			11	方眼座標値	2.0	1/4	注記	E7	○				半角	
			12	方位	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
			25	線形図	01	IP(IP杭)	2.0	1/4	注記	E7	○			
	03	主要点(役杭)			2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
	04	中心点(中心杭)			2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
	07	役杭引出要素			2.0	1/4	注記	E7	○				半角	
	65	杭打図	11	多角点名称	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
			12	引照	2.0	1/4	注記	E7	○				半角	
			01	中心杭番号	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
	82	用地	02	用地杭名称	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
			21	境界点名称	2.0	1/4	注記	E7	○				全角・半角	
			61	点間の距離	2.0	1/4	注記	E7	○				半角	
			62	地番	2.5	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角	
			63	地目	2.5	1/4~1	注記	E7	○				全角	
			64	所有者等の氏名	2.5	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角	
	65	不動産番号	2.5	1/4~1	注記	E7	○				半角			
	66	座標系	2.5	1/4~1	注記	E7	○				全角・半角			

公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表 測量記録

基準点網図

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ				線号	備考
				取得方法	図形区分	データ	レコード		
	01	与点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3 基準点測量を行う場合に使用する与点という。	
	02	新点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3 新しく設置する新点 (基準点) をいう。	
	03	節点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3 点間に視通が無い場合に定められた範囲内で設ける点という。	
	04	偏心点・方位点		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3 与点等で点間の視通が無い場合に設ける偏心点をいう。	
	05	点間結線		点間の線を取得	線	E2		3 点間の視通を表す結線という。	
	06	与点後視方向線		与点での方向線を与点から方向点方向に取得	線	E2	有	3 与点で後視方向のみ取り付ける場合の方向線という。	
	07	観測方向 (矢印)		観測方向で観測の方向を点間結線上に点の位置と方向を取得	方向	E6	有	3 点間結線上に観測方向を表現した記号という。	
	08	観測方向 (線)		観測方向を始点から終点に向かって取得 内角の場合は時計回りに取得	線 円弧	E2 E4	有	3 観測路線方向を表現した方向線という。	
	09	セッション		セッションを取得 (始終点座標一致)	面線	E1 E2		3 GPSで観測する場合のセッションという。	
	11	与点記号 (電子基準点)		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3 基準点測量を行う場合に使用する与点 (電子基準点) という。	
	15	点間結線 (偏心与点間)		点間の線を取得	線	E2		3 偏心与点間の視通を表す結線という。	

水準路線図

大分類	分類コード	名称	図式	データタイプ					線号	用途	備考
				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向			
地形図	77	水準路線図	与点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	水準測量を行う場合に使用する与点をいう。	
			新点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	新しく設置する新点（水準点・BM・交点）をいう。	
			固定点記号		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	観測路線中にある固定点をいう。	
			水準路線		水準路線を取得	線	E2		3	水準路線をいい、路線単位で取得する。	
			観測路線方向線		観測路線の方向を始点から終点方向に取得	線	E2		3	水準路線の観測方向を表現した方向線をいう。	

空中写真資料

大分類	分類コード	項目名	名称	図式	データタイプ				番号	用途	備考
					取得方法	図形区分	データ	レコード			
空中写真資料	78	01	標定点		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	標定点配置図	
		02	対空標識		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	対空標識一覧図	
		03	刺針点		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	刺針点一覧図	
		04	主点		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	空中三角測量実施一覧図	
		05	タイポイント		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	空中三角測量実施一覧図	
		06	連結	—	標定点から撮影コースへの連結を取得	線	E2		3	空中三角測量実施一覧図	
				—	撮影コースを取得	線	E2		3	空中写真標定図	
		11	撮影コース	属性	撮影コースの要素を取得 (属性区分)、属性データの形式ASZ)	属性	E8				撮影コースの要素をいう。コース番号、使用カメラ名、カメラ番号(シリアル番号)、撮影距離(m)、撮影高度(m)、撮影縮尺(分母)、撮影年月(YMM)、基点写真番号、終点写真番号、"A4, 2A10, 17, 14, 15, 3A4"の書式で記述する。
		12	撮影主点		記号表示位置の点を取得 挿入位置	点	E5		3	空中写真標定図	
		13	写真枠		写真の枠を取得 (標定点座標一致)	面	E1		3	○ 空中写真標定図	
		14	撮影区域	—	撮影区域を取得	線	E2		3	空中写真標定図	
21	作成範囲	—	作業範囲を取得	面	E1		4				

注記

大分類	分類コード		分	表示対象	字 大		字隔	データタイプ		注記法の区分				全角・半角	備 考 (記載例)	
	レイヤ	項目			データ	500		1000	データ	レコード	小対象物	地域(I)	地域(II)			線状
注記	82	21	基準点網図	測点名称	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角		
		22		電算番号	2.5		1/4	注記	E7	○				半角		
		23		セッション名	2.5		1/4	注記	E7	○				半角		
	82	31	水準	測点名称	2.5		1/4	注記	E7	○				全角・半角		
		32		観測路線番号	2.5		1/4	注記	E7	○				半角		
	78	空中写真資料	01	標定点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角		
			02	対空標識名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角		
			03	刺針点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				全角・半角		
			04	主点名称	2.0		1/4	注記	E7	○				半角		
			05	タイポイント名称	2.0		1/4	注記	E7	○				半角		
	82		11	コース番号	2.0		1/4	注記	E7	○				半角		
			41	写真番号	2.0		1/4	注記	E7	○				半角		
			42	使用カメラ	2.0		1/4	注記	E7	○				半角		
			43	画面距離	2.0		1/4	注記	E7	○				半角		
			44	撮影高度	2.0		1/4	注記	E7	○				半角		

公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類コード表

取得分類コード表

コード	項目	コード	項目	コード	項目	コード	項目
未分類 00	未分類	11 XX	境界・所属界	24 XX	鉄道施設	35 50	変電所
行政界 10	未分類	11 00	未分類	24 00	未分類	35 52	浄水場
11	境界・所属界	11 01	都府県界	24 01	鉄道橋(高架部)	35 53	揚水機場
交通施設 20	未分類	11 02	北海道の支庁界			35 56	揚水・排水機場
21	道路	11 03	都市・東京都の区界	24 11	跨線橋	35 57	排水機場
22	道路施設	11 04	町村・指定都市の区界	24 12	地下通路	35 59	公衆便所
23	鉄道	11 06	大字・町・丁目界	24 19	鉄道のトンネル		
24	鉄道施設	11 07	小字界			35 60	ガソリンスタンド
25	線形図・杭打ち図			24 21	停留所	41 XX	公共施設
建物 30	建物	11 10	所属界	24 24	プラットホーム	41 00	未分類
34	建物の付属物	11 11	行政区の代表点	24 25	プラットホーム上屋	41 01	マンホール(未分類)
35	建物記号			24 26	モノレール橋脚		
小物体 40	未分類	21 XX	道路	24 28	鉄道の雪覆い等	41 11	マンホール(共同溝)
41	公共施設	21 00	未分類	25 XX	線形図・杭打ち図	41 19	有線柱
42	その他の小物体	21 01	道路線(街区線)	25 01	IP(IP杭)		
水部等 50	未分類	21 02	軽車道	25 02	IP方向線	41 21	マンホール(ガス)
51	水涯線	21 03	徒歩道	25 03	主要点(役杭)	41 31	マンホール(電話)
52	水部に関する構造物	21 06	庭園路等	25 04	中心点(中心杭)	41 32	電話柱
土地利用等 60	未分類	21 07	トンネル内の道路	25 05	中心線	41 41	マンホール(電気)
61	法面・構面	21 09	建設中の道路	25 06	その他の路線結線	41 42	電力柱
62	諸地・場地			25 07	役杭引出線	41 51	マンホール(下水)
63	植生	22 XX	道路施設			41 61	マンホール(水道)
65	用地	22 00	未分類	25 11	多角点(記号)		
地形 70	未分類	22 03	道路橋(高架部)	25 12	引照(線)	42 XX	その他の小物体
71	等高線	22 04	木橋	30 XX	建物	42 00	未分類
72	変形地	22 05	徒橋	30 00	分類しない建物	42 01	墓碑
73	基準点	22 06	棧道橋	30 01	普通建物	42 02	記念碑
75	数値地形モデル	22 11	横断歩道橋	30 02	堅ろう建物	42 03	立像
76	基準点網図	22 12	地下横断歩道	30 03	普通無壁舎	42 04	路傍祠
77	水準点網図	22 13	歩道	30 04	堅ろう無壁舎	42 05	灯ろう
78	空中写真資料	22 14	石段	34 XX	建物の付属物	42 06	狛犬
79	応用測量整飾	22 15	地下街・地下鉄等出入口	34 00	未分類	42 07	鳥居
注記 80	未分類	22 19	道路のトンネル	34 01	門		
81	注記	22 21	バス停	34 02	屋門	42 11	官民境界杭
82	測量記録等	22 22	安全地帯	34 03	たたき	42 15	消火栓
		22 27	駒止	34 04	プール	42 16	消火栓 立型
		22 28	道路の雪覆い等	35 XX	建物記号	42 17	地下換気孔
				35 00	未分類	42 19	坑口
		22 31	側溝 U字溝無蓋	35 03	官公署	42 21	独立樹(広葉樹)
		22 32	側溝 U字溝有蓋	35 04	裁判所	42 22	独立樹(針葉樹)
		22 33	側溝 L字溝	35 05	検察庁	42 23	噴水
		22 34	側溝地下部	35 07	税務署	42 24	井戸
		22 35	雨水樹	35 08	税関	42 25	油井・ガス井
		22 36	並木樹	35 09	郵便局	42 26	貯水槽
		22 39	並木 植樹	35 10	森林管理署	42 27	肥料槽
				35 11	測候所	42 28	起重機
		22 41	道路情報板	35 12	工事事務所	42 31	タンク
		22 42	道路標識 案内	35 13	出張所	42 32	給水塔
		22 43	道路標識 警戒	35 14	警察署	42 33	火の見
		22 44	道路標識 規制	35 15	交番	42 34	煙突
		22 46	信号灯	35 16	消防署	42 35	高塔
		22 47	信号灯 専用ポールのないもの	35 17	職業安定所(ハローワーク)	42 36	電波塔
		22 51	交通量観測所	35 18	土木事務所	42 37	照明灯
		22 52	スノーポール	35 19	夜場支所及び出張所	42 38	防犯灯
		22 53	カーブミラー			42 39	風車
		22 55	距離標(km)	35 21	神社	42 41	灯台
		22 56	距離標(m)	35 22	寺院	42 42	航空灯台
				35 23	キリスト教会	42 43	灯標
		22 61	電話ボックス	35 24	学校	42 45	ヘリポート
		22 62	郵便ポスト	35 25	幼稚園・保育園	42 51	水位観測所
		22 63	火災報知器	35 26	公会堂・公民館	42 52	流量観測所
				35 27	博物館	42 53	雨量観測所
		23 XX	鉄道	35 28	図書館	42 54	水質観測所
		23 00	未分類	35 29	美術館	42 55	波浪観測所
		23 01	普通鉄道			42 56	風向・風速観測所
		23 02	地下鉄地上部	35 30	老人ホーム	42 61	輸送管(地上)
		23 03	路面電車	35 31	保健所	42 62	輸送管(空間)
		23 04	モノレール	35 32	病院	42 65	送電線
		23 05	特殊鉄道	35 33	銀行		
		23 06	索道	35 34	協同組合		
		23 09	建設中の鉄道	35 39	デパート		
		23 11	トンネル内の鉄道・普通鉄道	35 45	倉庫		
		23 12	地下鉄地下部	35 46	火薬庫		
		23 13	トンネル内の鉄道・路面電車	35 48	工場		
		23 14	トンネル内の鉄道・モノレール	35 49	発電所		
		23 15	トンネル内の鉄道・特殊鉄道				

取得分類コード表

コード	項目	コード	項目	コード	項目	コード	項目
51 XX	水部	62 21	噴火口・噴気口	71 08	凹地(特殊補助曲線)	79 05	凡例(外枠)
51 00	未分類	62 22	温泉・鉱泉			79 06	凡例(罫線)
51 01	河川・水がい線	62 23	陵墓	71 99	凹地(矢印)	79 07	作表(外枠)
51 02	細流・一条河川	62 24	古墳			79 08	作表(罫線)
51 03	かれ川	62 25	城・城跡	72 XX	変形地		
51 04	用水路	62 26	史跡・名勝・天然記念物	72 00	未分類	79 11	方眼線
51 05	湖池			72 01	土がけ(崩土)	79 12	方眼点
51 06	海岸線	62 31	採石場	72 02	雨裂	79 13	方位
51 07	水路 地下部	62 32	土取場	72 03	急斜面	79 14	方眼紙(5cm)
		62 33	採鉱地	72 06	洞口	79 15	方眼紙(1cm)
51 11	低位水がい線(干潟線)			72 10	未分類 岩	79 16	方眼紙(1mm)
52 XX	水部に関する構造物等	63 XX	植生	72 11	岩がけ		
52 00	未分類	63 00	未分類	72 12	露岩		
52 01	未分類	63 01	植生界	72 13	散岩		
52 02	棧橋(鉄・コンクリート)	63 02	耕地界	72 14	さんご礁		
52 03	棧橋(木製・浮棧橋)	63 03	仮耕地界				
52 04	棧橋(浮き)			73 XX	基準点		
52 11	防波堤	63 11	田	73 00	未分類		
52 12	護岸 被覆	63 12	はず田	73 01	三角点		
52 13	護岸 杭(消波ブロック)	63 13	畑	73 02	水準点		
52 14	護岸 捨石	63 14	さとうきび畑	73 03	多角点等		
52 19	坑口 トンネル	63 15	パイナップル畑	73 04	公共基準点(三角点)		
		63 16	わさび畑	73 05	公共基準点(水準点)		
52 21	渡船発着所	63 17	桑畑	73 06	公共基準点(多角点等)		
52 22	船揚場	63 18	茶畑	73 07	その他の基準点		
52 26	滝	63 19	果樹園	73 08	電子基準点		
52 27	せき	63 21	その他の樹木畑	73 09	公共電子基準点		
52 28	水門	63 22	牧草地				
		63 23	芝地	73 11	標石を有しない標高点		
52 31	不透過水制			73 12	図化機測定による標高点		
52 32	透過水制	63 31	広葉樹林				
52 33	水制水面下	63 32	針葉樹林	75 XX	数値地形モデル		
52 35	根固	63 33	竹林	75 00	未分類		
52 36	床固 陸部	63 34	荒地	75 01	グリッドデータ		
52 37	床固 水面下	63 35	はい松地	75 11	ランダムポイント		
52 38	蛇籠	63 36	しの地(笹地)	75 21	ブレークライン		
52 39	敷石斜坡	63 37	やし科樹林	75 31	不整三角網(TIN)		
		63 38	湿地				
52 41	流水方向	63 40	砂れき地(未分類)	76 XX	基準点網図		
52 55	距離標	63 41	砂地	76 01	与点記号		
52 56	量水標	63 42	れき地	76 02	新点記号		
		63 45	干潟	76 03	節点記号		
61 XX	法面・構面			76 04	偏心点・方位点		
61 00	未分類	65 XX	用地	76 05	点間結線		
61 01	人工斜面	65 01	中心杭	76 06	与点後視方向線		
61 02	土堤	65 02	用地杭	76 07	観測方向(矢印)		
61 03	河川堤防の表法肩の法線	65 11	起業地の境界	76 08	観測方向(線)		
		65 12	用地取得予定線	76 09	セッション		
61 10	被覆	65 13	大字の境界				
61 11	コンクリート被覆	65 14	字の境界	76 11	与点記号(電子基準点)		
61 12	ブロック被覆	65 15	土地の境界				
61 13	石積被覆	65 16	一筆地内の異なる地目の境界	76 15	点間結線(偏心与点間)		
		65 17	一筆地内の異なる権利の境界	77 XX	水準路線図		
61 20	未分類 法面保護	65 18	一筆地内の異なる占有者の境界	77 01	与点記号		
61 21	法面保護(網)	65 19	同一所有者記号	77 02	新点記号		
61 22	法面保護(モルタル)			77 03	固定点記号		
61 23	法面保護(コンクリート樹)	65 21	境界標	77 04	水準路線		
		65 22	公共施設の境界線(道路区域界)	77 05	観測路線方向線		
61 30	さく(未分類)・かき	65 23	公共施設の境界線(河川区域界)				
61 31	落下防止さく			78 XX	空中写真資料		
61 32	防護さく	65 41	拡大参照枠	78 01	標定点		
61 33	遮光さく	65 42	引き出し線	78 02	対空標識		
61 34	鉄さく			78 03	刺針点		
61 36	生垣	65 51	配電線路	78 04	主点		
61 37	土垣	65 52	送電線路	78 05	タイポイント		
		65 53	通信線路	78 06	連結		
61 40	へい(未分類)	65 54	鉄道・軌道				
61 41	壁ろうへい			78 11	撮影コース		
61 42	簡易へい			78 12	撮影主点		
62 XX	諸地・場地			78 13	写真枠		
62 00	未分類			78 14	撮影区域		
62 01	区域界	65 55	その他の路線				
				78 21	作成範囲		
62 11	空地	71 XX	等高線				
62 12	駐車場	71 00	未分類	79 XX	応用測量整飾		
62 13	花壇	71 01	等高線(計曲線)	79 01	図枠(外枠)		
62 14	園庭	71 02	等高線(主曲線)	79 02	図枠(内枠)		
62 15	墓地	71 03	等高線(補助曲線)	79 03	タイトル(外枠)		
62 16	材料置場	71 04	等高線(特殊補助曲線)	79 04	タイトル(罫線)		
		71 05	凹地(計曲線)				
		71 06	凹地(主曲線)				
		71 07	凹地(補助曲線)				

取得分類コード表

コード	項目	コード	項目
81 XX	注記	25 11	多角点名称
81 00	未分類	25 12	引照
81 10	市・東京都の区	34 XX	建物の付属物
81 11	町・村・指定都市の区	34 04	プール
81 12	市町村の飛地		
81 13	大字区域	52 XX	水部に関する構造物等
81 14	大字・町・丁目	52 13	護岸杭(消波ブロック)
81 15	小字・丁目	52 14	護岸 捨石
81 16	通り		
81 17	その他の地名(大)	52 22	船揚場
81 18	その他の地名(中)		
81 19	その他の地名(小)	52 35	根固
81 21	道路の路線名	52 36	床固 陸部
81 22	道路施設、坂、峠、インターチェンジ	52 37	床固 水面下
81 23	鉄道の路線名	52 38	ジャカコ
81 24	鉄道施設、駅、操車場、信号所		
81 25	橋	65 XX	用地測量
81 26	トンネル	65 01	中心杭番号
81 31	建物の名称	65 02	用地杭名称
81 34	建物の付属物	65 21	境界点名称
81 40	マンホール		
81 41	電柱	71 XX	等高線
81 42	その他の小物体	71 01	等高線(計曲線)
81 51	水部	71 02	等高線(主曲線)
81 52	水部施設	71 03	等高線(補助曲線)
81 53	地下水部	71 04	等高線(特殊補助曲線)
81 61	法面、構面	71 05	凹地(計曲線)
81 62	諸地、場地	71 06	凹地(主曲線)
81 63	植生	71 07	凹地(補助曲線)
81 71	山地	71 08	凹地(特殊補助曲線)
81 73	標高注記		
81 81	説明注記	73 XX	基準点
81 99	指示点	73 01	三角点
		73 02	水準点
82 XX	測量記録等	73 03	多角点
82 0X	応用測量整飾	73 04	公共基準点(三角点)
82 01	図面タイトル	73 05	公共基準点(水準点)
82 02	図面縮尺	73 06	公共基準点(多角点)
82 03	地区名	73 07	その他基準点
82 04	計画機関名	73 08	電子基準点
82 05	作業機関名	73 09	公共電子基準点
82 06	作成年月日		
82 07	タイトル(文字)	73 11	標石を有しない標高点
82 08	凡例(文字)	73 12	図化標高点
82 09	作表(文字)		
82 11	方眼座標値		
82 12	方位		
82 2X	基準点網図		
82 21	測点名称		
82 22	電算番号		
82 23	セッション名		
82 3X	簡易水準測量		助字
82 31	測点名称		ふり仮名
82 32	観測路線番号		
82 4X	空中写真資料		
82 41	写真番号		
82 42	使用カメラ		
82 43	画面距離		
82 44	撮影高度		
82 6X	用地測量		
82 61	点間の距離		
82 62	地番		
82 63	地目		
82 64	所有者等の氏名		
82 65	不動産番号		
82 66	座標系		
22 XX	道路施設		
22 55	距離標(Km)		
22 56	距離標(m)		
25 XX	線形		
25 01	IP(IP杭)		
25 03	主要点(役杭)		
25 04	中心点(中心杭)		
25 07	役杭引出要素		

公共測量標準図式 数値地形図データファイル仕様

数値地形図データファイル仕様

ファイル仕様の記述

- A.....文字型 (入力値がない場合は半角スペース。ただし、年月では“0000”)
- I.....整数型 (入力値がない場合は、“0”)
- X.....空白 (半角スペース)

(1) インデックスレコード (a)

A2	12	計画機関名 A30	13	図郭数	図郭識別番号レコード 12	14	使用分類コード数	11	間断処理フラグ	間断処理フラグ	作業規程名 A30	11	空き領域	3X
レコードタイプ	11		11			11		11						

- レコードタイプ.....「1」に固定 (△はスペースを示す。以下同じ。)
- 図郭数.....平直角座標系の系番号
- 図郭識別番号レコード数.....数値地形図データの作成・更新を計画した機関名
- 図郭識別番号レコード数.....地域内に含まれる情報区画数
- 使用分類コード数.....当該データで使用している分類コード数 (対応テーブルのレコード数)
- 間断処理フラグ.....当該データファイルで、間断区分を設定しているか否か
 0 : 転位処理を設定していない
 1 : 転位処理を設定している
- 間断処理フラグ.....当該データファイルで、間断区分を設定しているか否か
 0 : 間断処理を設定していない
 1 : 間断処理を設定している
- 使用した作業規程.....当該データファイルのフォーマットが定められた作業規程の名称
- 西暦年号.....作業規程が施行された西暦年 例) 2008
- 作業規程名.....使用した作業規程名 例) 国土交通省公共測量作業規程
- バージョン.....データファイル仕様のバージョンで、本仕様では1
- 空き領域区分.....空き領域をユーザーが利用した場合の区分
 0: 利用していない。
 n: 利用している (1 ≤ n ≤ 9)。nの値はユーザーで管理する番号

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(a)

レコードタイプ	図郭識別番号	図郭名称	地図情報レベル	タイトル名	修正回数	バージョン	空き領域
A2	A8	A20	A15	A30	12	11	15X
	10	20	30	50	60	70	80

レコードタイプ.....「M△」に固定
 図郭識別番号.....当該図郭の番号(英数字)
 図郭名称.....当該図郭の図郭名称
 地図情報レベル.....作業規程の準則第4編第1章第80条に従う。
 タイトル名.....当該図郭のタイトル名(例:〇〇市都市計画基本図)
 修正回数.....図郭の修正作業を行った回数。新規作成時は修正回数0(ゼロ)
 バージョン.....データファイル仕様のバージョンで、本仕様では1
 空き領域区分.....空き領域をユーザーが利用した場合の区分
 0:利用していない。
 n:利用している(1≦n≦9)。nの値はユーザーで管理する番号

(2) 図郭レコード(b)

図郭座標(1)		空き領域	要素数	レコード数	座標値の単位	図郭座標(2)	
左下図郭座標	右上図郭座標					左上図郭座標	右下図郭座標
X (m)	Y (m)	X (m)	Y (m)			X (m)	Y (m)
17	17	17	17	17	13	17	17
10	20	30	40	50	60	70	80

図郭座標(1).....当該図郭の左下隅及び右上隅の、X、Y座標で、単位はメートル
 要素数.....当該図郭に含まれる主要要素
 レコード数.....当該図郭ファイルの図郭レコードを除く全レコード数
 座標値の単位.....座標データの単位を記述する。
 地図情報レベル500及び1000では「1」.....使用している座標値が「mm」単位であることを示す
 地図情報レベル2500及び5000では「10」.....使用している座標値が「cm」単位であることを示す
 地図情報レベル10000では「999」.....使用している座標値が「m」単位であることを示す
 図郭座標(2).....当該図郭の左上隅及び右下隅の、X、Y座標で、単位はメートル

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(c)

隣接図郭識別番号							
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8
10	20	30	40	50	60	70	80

隣接図郭識別番号・・・当該図郭の周りの図郭番号(英数字)で、左上から右回り(全部で8枚)、存在しない図郭はスペース

1	2	3
8		4
7	6	5

(2) 図郭レコード(d)

作成年月	現地調査年月	撮影レコード数	入力機器名	公共測量承認番号	測地成果識別コード	測地成果識別コード	図郭番号	空き領域
A4	A4	11 11	A30	A30	11 11	11 11	11 X	11 X
10	20	30	40	50	60	70	80	80

作成年月・・・・・・・位層データを作成した年月、西暦の下2桁及びひひ月で表現(未入力時は"0000")

現地調査年月・・・・・・・現地調査を行った年月、西暦の下2桁及びひひ月で表現(未入力は"0000")

撮影レコード数・・・・・・・当該図郭に關係する写真のコース数。航空レーザ測量の場合は、計測地区数と読み替える。

レコード数・・・・・・・撮影コースレコード(f)の数、レコード数(f)に記載項目がない場合は0。

入力機器名・・・・・・・位置データを入力した機器名

公共測量承認番号・・・・承認番号

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

測地成果識別コード・・・・日本測地系で作成

※日本測地系とは、測量法(昭和24年)に定められた測量の基準、世界測地系とは、測量法(平成14年4月1日施行)に定められた測量の基準

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(e)

作業機関名	図郭座標の端数							
	左下図郭座標	右上図郭座標	左上図郭座標	右下図郭座標	左上图郭座標	右上图郭座標	左下图郭座標	右下图郭座標
	X (cm) Y (mm)	X (cm) Y (mm)	X (cm) Y (mm)	X (cm) Y (mm)	X (cm) Y (mm)	X (cm) Y (mm)	X (cm) Y (mm)	X (cm) Y (mm)
	I4	I4	I4	I4	I4	I4	I4	I4
	10	20	30	40	50	60	70	80
	12X							

作業機関名……………数値地形図作成作業を実施した機関名

図郭座標の端数……………数値地形図作成作業を実施した機関名

左下図郭座標……………左下図郭座標のメートル未満の端数値を記述する。

右上図郭座標……………右上図郭座標のメートル未満の端数値を記述する。

左上図郭座標……………左上図郭座標のメートル未満の端数値を記述する。

右下図郭座標……………右下図郭座標のメートル未満の端数値を記述する。

地図情報レベル500及び1000では「mm」単位、地図情報レベル2500以上では「cm」単位

(2) 図郭レコード(f)

撮影 コース 番号	写真		撮影		写真		撮影		写真		撮影		写真		撮影	
	縮尺	枚数	縮尺	枚数	縮尺	枚数	縮尺	枚数	縮尺	枚数	縮尺	枚数	縮尺	枚数	縮尺	枚数
A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	I5	I1	I4	I4
	10	20	30	40	50	60	70	80	10	20	30	40	50	60	70	80
	18X															

撮影コース番号……………当該図郭に関する写真の撮影コース番号(英数字)。航空レーザ測量の場合は、計測地区番号と読み替える。

撮影年月……………当該図郭に関する写真の撮影年月、西暦の下2桁及び月で表す(未入力時は「0000」)。航空レーザ測量の場合は、計測年月日と読み替える。

写真縮尺……………当該図郭に関する写真の縮尺の分母数。航空レーザ測量の場合は、三次元計測データの平均間隔と読み替えcm単位で入力する。

写真枚数……………当該図郭に関する写真の当該コース番号についての枚数

写真番号……………当該図郭に関する写真の始点及び終点番号

※(d) (e) (f) は新規作成時に1回、その後は

(d) (e) (f) (d) (e) (f) (d) (e) (f) ……………

新規

修正1回目

修正2回目

のように、修正が行われる度に追加される。

※図郭レコード(f)のデータ数が4以上の場合には枚数レコードを連続する。

数値地形図データファイル仕様

(3) グループヘッドレコード(レイヤヘッドレコード及び要素グループヘッドレコード)

レコードタイプ	地図分類コード		要素識別番号		要素数										取得年月	更新の取得年月	消去年月	数値化区分	空き領域		
	分類コード	レイヤ	項目	情報分類	総数	グループ	面	線	円	円弧	点	方向	注記	属性	グリッド T I N	A4	A4	A4	12	X	
A2	14	12	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	11	70	70	70	80	80	80

レコードタイプ……………「H△」に固定
 地図分類コード……………数値地形図の情報体系コード
 分類コード……………取得分類基準表に基づく分類コード
 地域分類コード……………地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
 情報分類コード……………地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
 要素識別番号……………個々の要素を識別するためのもので、一図郭内の分類コード別に、1から4桁の一連番号、10,000を超える場合は0から開始する4桁の一連番号(通常レイヤヘッドレコードでは0)
 情報レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常レイヤヘッドレコードでは1、要素グループヘッドレコードでは2)
 要素数……………1レベル下に存在するデータタイプ別の要素数及びグループ数、総数

取得年月……………当該グループに属する要素の最新年月、西暦の下2桁及びひひ月で表現(未入力ば"0000")
 更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及びひひ月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
 消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する消去要素の最新年月、西暦の下2桁及びひひ月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
 数値化区分……………当該グループが主にどのような手法によって数値化されたかを示す区分(精度区分の上位桁)

数値地形図データファイル仕様

(4) 要素レコード

レコードタイプ	A2	14	12	12	11	12	11	12	11	14	14	14	14	17	17	17 or 7X	12	A7	A4	A4	A4	6X	11		
レコードタイプ	分類コード	項目レイヤ	地域分類	情報分類	要素識別番号	階層レベル	図形区分	要素区分	精度区分	実データ区分	構造区分	注記区分	断区分	間断区分	データ数	レコード数	代表点の座標値 X Y		属性数値	属性区分	属性データの書式	取得年月	更新の取得年月	消去年月	要素識別番号 反復回数
	10	20	30	40	50	60	70	80																	

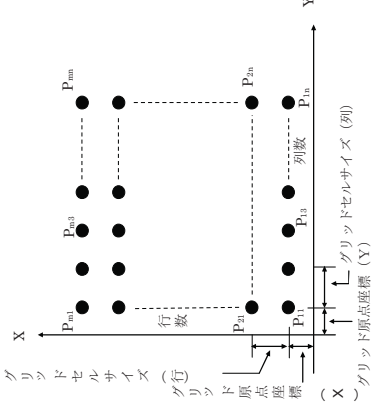
レコードタイプ.....データタイプによって区分される
 地図分類コード.....数値地形図の情報体系コード
 分類コード.....取得分類基準表に基づく分類コード
 地域分類コード.....地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
 情報分類コード.....地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
 要素識別番号.....(3)グループヘッドレコードを参照

階層レベル.....当該レコードの階層上の位置
 図形区分.....図面出力上必要な区分レコード
 実データ区分.....直後に来る実データレコードの区分
 精度区分.....要素ごとのデータの精度
 注記区分.....漢字か英数字かの区分
 断区分.....転位処理フラグが1のとき、図面出力において適用される区分
 間断区分.....0:転位されない。
 1:n:データの方向に対して右側に転位する。(1≤n≤9)
 -n:n:データの方向に対して左側に転位する。(1≤n≤9)
 取得分類コード.....間断処理フラグが1のとき、図面出力において適用される区分
 取得分類コード.....取得分類コードによって記述が異なる。1, 2, ..., nと記述
 データ数.....データタイプによって記述が異なる。
 E1~E6 : 座標数 E7 : 文字数 E8 : 属性数

レコード数.....当該要素を持つ実データレコード数
 代表点の座標値.....図形の代表となる点、記号や注記の指示座標
 E5 : データ座標(横書きでは最初の文字の左下座標、縦書きでは最初の文字の左上座標)
 E7 : 始点座標(横書きでは最初の文字の左下座標、縦書きでは最初の文字の左上座標)
 E9 : データ座標(横書きでは最初の文字の左下座標、縦書きでは最初の文字の左上座標)

属性数値.....図形の代表となる数値、等高線や基準点の標高、mm単位で記述
 属性区分.....利用者が独自に付ける区分で、別途属性区分表にて解説
 属性データの書式.....属性レコードを持つ場合の、そのレコードに記述されている内容の書式、Fontan形式で記述
 取得年月.....当該要素が最初に取得された年月、西暦の下2桁及びひひ月で表現(選択項目)(未入力時は"0000")
 更新の取得年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該要素が存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及びひひ月で表現(選択項目)(未入力時は"0000")
 消去年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該要素が存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及びひひ月で表現(選択項目)(未入力時は"0000")

要素識別番号反復回数.....要素識別番号が4桁を超える場合に用いる。(1~9999が1, 10000~19999が2, 20000~29999が3, ..., 99999が9, 100000を超過しないために10となる。)



数値地形図データファイル仕様

(5) グリッドヘッダレコード

レコードタイプ A2	地図分類コード		要素識別番号	階層レベル	行数	列数	レコード数	グリッドセルサイズ		グリッド原点座標値		更新の取得年月	取得年月	消去年月	図形区分	精度区分	空き領域	レコード数 反復回数	
	分類コード	地域分類						情報分類	行	列	X								Y

- レコードタイプ.....「GΔ」に固定
- 地図分類コード.....要素グループヘッダレコードを参照
- 分類コード、地域分類、情報分類.....要素グループヘッダレコードを参照
- 要素識別番号.....要素グループヘッダレコードを参照
- 階層レベル.....当該コードの階層上の位置(通常または3)
- 行数.....グリッドデータの横(Y)方向の並びの数
- 列数.....グリッドデータの縦(X)方向の並びの数
- レコード数.....当該グリッドデータの表データレコード数
- グリッドセルサイズ.....グリッドデータの格子点間距離
- グリッド原点座標値.....グリッドデータの原点
- 更新の取得年月.....当該グリッドデータを取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
- 更新の取得年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グリッドデータが修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
- 消去年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グリッドデータが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
- 図形区分.....図面出力上必要な区分コード
- 精度区分.....グリッドごとのデータの精度
- レコード数反復回数.....レコード数が4桁を超える場合に用いる。(1~9999が1、10,000~19,999が2、20,000~29,999が3、.....。通常は10,000を超えないために1となる。)

(6) 不整三角形ヘッダレコード

レコードタイプ A2	地図分類コード		要素識別番号	階層レベル	図形区分	三角形数	レコード数	取得年月	更新の取得年月	消去年月	精度区分	空き領域	レコード数 反復回数	
	分類コード	地域分類												情報分類

- レコードタイプ.....「TΔ」に固定
- 地図分類コード.....要素グループヘッダレコードを参照
- 分類コード、地域分類、情報分類.....要素グループヘッダレコードを参照
- 要素識別番号.....要素グループヘッダレコードを参照
- 階層レベル.....当該コードの階層上の位置(通常は2又は3)
- 三角形数.....当該三角形の表データレコード数
- レコード数.....当該三角形の表データレコード数
- 取得年月.....当該不整三角形データを取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
- 更新の取得年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角形データが修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
- 消去年月.....追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角形データが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
- 精度区分.....不整三角形ごとのデータの精度

数値地形図データファイル仕様

(7) 三次元座標レコード

座標値			座標値			座標値		
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z
17	17	17	17	17	17	17	17	17
10			20			30		
10			30			50		
20			40			60		
30			50			70		
40			60			80		

Z値.....座標列の一部に値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

(8) 二次元座標レコード

座標値		座標値		座標値		座標値	
X	Y	X	Y	X	Y	X	Y
17	17	17	17	17	17	17	17
10		20		30		40	
10		30		50		70	
20		40		60		80	

座標値.....図原点(左下隅)からの測地座標で、要素レコードにあるデータ数と同じ座標値を持つ

線・面.....線上の経過点の座標値

点.....1点の座標値

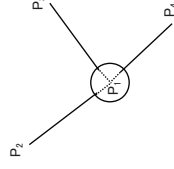
円.....円周上の3点の座標値

円弧.....円弧上の3点の座標値で、円弧の始点・円弧上の任意の点・円弧の終点の順に待つ

方向.....ある点に対する方向を示す場合(例えば電柱)に用いるもので、2つの座標値を組として方向を示す。

最初の座標値がその中心を、次の座標値がその方向を表し、1レコードには、三次元座標レコードでは2組の方向データを持つ。

右の別の方向データは、P1P、P1P、P1Pの3組となる(2レコードが必要)



※(7)において直前の要素レコードのデータ数が5以上の場合は、複数レコード連続する。

※(8)において直前の要素レコードのデータ数が7以上の場合は、複数レコード連続する。

数値地形図データファイル仕様

(9) 注記レコード

縦横区分	11	文字列の方向	17	字大	15	字隔	15	線号	12	注記データ	A64	80
				(0.1mm)	(0.1mm)							

縦横区分.....文字列の並びが縦か横かの区分

0: 横書き : 公共測量
1: 縦書き : 気象業務

文字列の方向.....注記の表示方向を示す角度。単位は度、範囲は縦書きの場合は-135°~-45°、横書きの場合は-45°~+45°とする。

字大.....字の大きさ 単位は10分の1ミリメートル

字隔.....字の間隔 単位は10分の1ミリメートル。全角・半角が混在する場合には、全角を基準とする。

線号.....線号の号数を記述する

注記データ.....漢字または文字データ(JIS新1及び第2水準) 複数レコードにまたがり、レコードの区切りに全角文字がきた場合には、バイトに分割して格納する。

※ 要素レコードのデータ数が、漢字の場合3以上、英数字の場合65以上の場合には、注記レコードが、複数連続する。

(10) 属性レコード

属性データ (書式は書式データに依る)											A64	80
属性データ.....ユーザーが利用する属性データ、書式は要素レコードに記述された「属性データの書式」による。												

属性データ.....ユーザーが利用する属性データ、書式は要素レコードに記述された「属性データの書式」による。

※ 要素レコードのデータ数が2以上の場合、複数レコード連続する。

数値地形図データファイル仕様

(11) グリッドレコード

数値(1)	数値(2)	数値(3)	数値(4)	数値(5)	数値(6)	数値(7)	数値(8)	数値(9)	数値(10)	数値(11)	数値(12)
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
10	20	30	40	50	60	70	80				

数値.....各格子点の数値、数値地形モデルのグリッドデータを記述する場合は、座標値の単位に従って記述する。

※ 全グリッドポイントを記述するまで連続する、データは原点(左下)から右上へ、連続して記述する。グリッドポイントが存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

(12) 不整三角網レコード

座標値(i, 1)			座標値(i, 2)			座標値(i, 3)			座標値(i+1, 1)		
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
10	20	30	40	50	60	70	80				

座標値.....括弧内に示す順番は、特定の不整三角網レコードの事例である。

三角形は3点の座標値とする。

座標値は不整三角網レコードを渡らずよう連続して記録する。

座標値及び三角形の記録する順番は規定しない。

※ (12)において直前の不整三角網レコードの三角形数が2以上の場合は、複数レコード連続する。

※ z値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

数値地形図データファイル仕様

実データ区分

コード	内容
0	実データなし(地形表面の高さを計測したもの)
1	実データなし(人工構築物等の地形表面以外の高さを計測したもの)
2	二次元座標レコード
3	三次元座標レコード(地形表面の高さを計測したもの)
4	注記レコード
5	属性レコード
6	三次元座標レコード(人工構築物等の地形表面以外の高さを計測したもの)

注記区分

コード	内容
0	区分しない
1	漢字
2	英数カナ文字

図形区分

コード	内容	対象となる取得分類項目
0	非区分	下記に該当しない全データ
11	射影部の上端	石段等の面端部、崩土、崖岩、溝
12	射影部の下端	人工斜面、被覆等の投影をもつもの
21	柵	道路橋、鉄道橋
22	橋	
23	親柱	
26	ガードレール	道路施設
27	ガードハンプ	
31	中線	建物
32	横割線	
33	階層線	
34	外付階段	
35	水子・ひし	
46	面傾斜地のへい	構造物
47	輸送管(空間)	小物体
51	表面面	数値地形モデル
52	海水面	
61	直線	中心線
62	円弧	
63	クロノイド	
64	その他の線五曲線	
71	石杭	境界標
72	コンクリート	
73	合成構造物	
74	不銹鋼杭	
75	その他の境界標	
76	境界計算品	
99	表裏補助データ	横断歩道・石段等の階段部

データタイプ	レコードタイプ
面	E1
線	E2
円	E3
円弧	E4
点	E5
方向	E6
注記	E7
属性	E8

間断区分

コード	内容
0	間断しない
1~9	間断する(数値は優先順位)

転位区分

コード	内容
0	転位しない
1~9	座標列の方向に対して右側に転位する
-1~-9	座標列の方向に対して左側に転位する

精度区分

コード	上位桁	下位桁
	数値化区分	地図情報レベル区分
1	基準点測量成果を用いる方法	1~ 50
2	TS等を用いた数値実測	~ 100
3	数値化法-他の数値地形図データの利用	~ 250
4	既成図数値化(無伸縮図面を使用)*	~ 500
5	既成図数値化(伸縮図面を使用)*	~ 1000
6	航空レーザ測量成果を用いる方法	~ 2500
7		~ 5000
8		~ 10000
9	その他	その他

測量機器級別性能分類表

1. セオドライトの級別性能分類

級 別	望遠鏡	目 盛 盤		読 取 方 法	水平気泡管 公称感度 (秒/目盛)	高度気泡管 公称感度 (秒/目盛)
	最短視準 距離(m)	最小目盛値				
		水平 (秒)	鉛直 (秒)			
特	10 以下	0.2 以下	0.2 以下	精密光学測微計又は 電子的読取装置	10 以下	10 以下
1	2.5 以下	1.0 以下	1.0 以下	同 上	20 以下	20 以下
2	2.0 以下	10 以下	10 以下	同 上	30 以下	30 以下
3	2.0 以下	20 以下	20 以下	同 上	40 以下	40 以下

ただし、高度角自動補正装置が内蔵されている場合は、高度気泡管の公称感度は除く。

2. 測距儀の級別性能分類

級 別	型 区 分	公称測定可能距離(km)	公 称 測 定 精 度	最小読定値(mm)
特	長距離	30以上	$5\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	1
	短距離	——	$0.2\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	0.1
1	長距離	10以上	$5\text{mm} + 1 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	1
	中距離	6以上	$5\text{mm} + 2 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	1
2	中距離	2以上	$5\text{mm} + 5 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	1
	短距離	1以上	$5\text{mm} + 5 \times 10^{-6} \cdot D$ 以下	1

ただし、Dは測定距離 (km) とする。

3. トータルステーションの級別性能分類

トータルステーションの構成は、測角部、測距部の本体及びデータ記憶装置をいう。

級 別	型 区 分	測角部の性能	測距部の性能	データ記憶装置
1	——	1級セオドライトに準ずる	2級中距離型測距儀に準ずる	データコレクタ、 メモ리카ード 又はこれに準ずる もの
2	A	2級セオドライトに準ずる	2級中距離型測距儀に準ずる	
	B		2級短距離型測距儀に準ずる	
3	——	3級セオドライトに準ずる	2級短距離型測距儀に準ずる	

4. レベルの級別性能分類

レベルは、必要に応じて水準測量作業用電卓を接続する。

1) 〔気泡管レベル〕

級 別	最短視準距離(m)	最小目盛値(mm)	読 取 方 法	主気泡管公称感度(秒/目盛)	円形気泡管公称感度(分/目盛)	摘 要
1	3.0 以下	0.1	精密読取機構等を有すること	10 以下	5以下	気泡合致方式であり、視準線微調整機構を有すること
2	2.5 以下	1	同 上	20 以下	10 以下	
3	2.5 以下	—	—	40 以下	10 以下	—

2) 〔自動レベル〕

級 別	最短視準距離(m)	最小目盛値(mm)	読 取 方 法	自動補正装置公称設定精度(秒)	円形気泡管公称感度(分/目盛)	摘 要
1	3.0 以下	0.1	精密読取機構等を有すること	0.4 以下	8以下	視準線微調整機構を有すること
2	2.5 以下	1	同 上	0.8 以下	10 以下	同 上
3	2.5 以下	—	—	1.6 以下	10 以下	—

3) 〔電子レベル〕

級 別	最短視準距離(m)	最小読取値(mm)	読 取 方 法	自動補正装置公称設定精度(秒)	円形気泡管公称感度(分/目盛)	摘 要
1	3.0 以下	0.01	電子画像処理方式による自動読取機構を有すること	0.4 以下	8以下	視準線微調整機構を有すること
2	2.5 以下	0.1	同 上	0.8 以下	10 以下	同 上

5. 水準標尺の級別性能分類

級	型区分	目 盛			全長	附属気泡管 の感度 (分/目盛)	形 状
		材 質	目 盛	目盛精度			
1	A	インバール	10mm又は5mm間隔 両側目盛又は バーコード目盛	50 μ m/m 以下	3 m 以下	15 ~ 25	直
	B	インバール	10mm又は5mm間隔 両側目盛又は バーコード目盛	51 μ m/m ~ 100 μ m/m	3 m 以下	15 ~ 25	直
2		インバール等	10mm又は5mm間隔 又はバーコード目盛	200 μ m/m 以下	4 m 以下	15 ~ 25	直 又はつなぎ

6. GPS測量機の級別性能分類

級 別	受信帯域数	標 準 測 位 方 式
1	2周波 (L1、L2)	スタティック 短縮スタティック キネマティック リアルタイムキネマティック
2	1周波 (L1)	スタティック 短縮スタティック キネマティック リアルタイムキネマティック

上記測位方式の公称測定精度、公称測定距離及び最小解析値は、下表のとおりとする。

測 位 方 式	公称測定精度	公称測定可能距離	最小解析値
2周波スタティック	5mm + 1 × 10 ⁻⁶ · D以下	10km以上	1mm
1周波スタティック	10mm + 2 × 10 ⁻⁶ · D以下	10km以下	1mm
2周波 短縮スタティック	10mm + 2 × 10 ⁻⁶ · D以下	5 km以下	1mm
1周波 短縮スタティック	10mm + 2 × 10 ⁻⁶ · D以下	5 km以下	1mm
キネマティック	20mm + 2 × 10 ⁻⁶ · D以下	——	1mm
リアルタイムキネマティック	20mm + 2 × 10 ⁻⁶ · D以下	——	1mm

ただし、Dは測定距離 (km) とする。